

道志村「みんなの知恵で村づくり 村民アンケート」
調査報告書

平成 27 年 12 月 17 日

道志村

目次

調査概要	1
＜回答者の属性＞	
F1：性別（SA）	2
F2：年齢（SA）	2
F3：居住地区（SA）	3
F4：道志村に住んでいる通算年数（SA）	3
F5：住んでいる形態（SA）	4
F6：主な職業（SA）	5
F7(1)：通勤・通学（SA）	6
F7(2)：通勤地・通学地（SA）	7
F8：日用品の主な買物先（SA）	9
＜村の施策への取り組み＞	
問 1：道志村の住みやすさ（SA）	11
問 2：「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と思う主な理由（MA）	12
問 3：道志村に住み続けたいと思うか（SA）	14
問 4：道志村の施策についての評価（SA）	15
＜今後の村政のあり方＞	
問 5：理想とする道志村の人口（SA）	18
問 6：行政サービスと住民負担のあり方（SA）	19
問 7：今後目指すべき村の姿（SA）	20
問 8：他の市町村との関係についてどうあるべきだと考えるか（SA）	21
問 9：今後取り組むべき最も重要な施策（MA）	23
問 10：生活環境の中で整備が必要だと考える施設（MA）	25
問 11：大規模災害時の備えとして必要だと感じること（MA）	27
問 12：村の産業振興のため、取り組むべきこと（MA）	29
問 13：村の観光産業の活性化を図るため、重要だと思う取り組み（MA）	31
問 14：横浜市との関係をよりよいものにしていくために、進めるべき取り組み（MA）	33
問 15：保健・医療・福祉分野に関して不安や不満に感じること（MA）	35
問 16：若い世代が充実した生活を送り、安心して子どもを産み育てたいと思える社会にするために必要なこと（MA）	37
問 17：学校教育、生涯学習活動や芸術文化活動、スポーツ活動等に関して、もっと取り組んでほしいこと（MA）	39
＜村が実施すべき人口対策＞	
問 18：結婚しているか（SA）	41

問 19：今後結婚したいと思うか（SA）	42
問 20：理想的な子どもの数（SA）	43
問 21：道志村で子どもを多く生み育ててもらうために、必要だと思う施策（SA）	44
問 22：道志村外に在住したことがあるか（SA）	45
問 23：道志村に転入してきた理由（MA）	46
問 24(1)：他市町村と比較した、道志村の良い点（MA）	47
問 24(2)：他市町村と比較した、道志村の良くない点（MA）	49
＜あなた自身の生き方＞	
問 25：村民の定住を促進するために、道志村として特に必要だと思うこと（MA）	51
問 26：参加しても良いと考える公共的な活動（MA）	53
問 27：情報を入手する手段（SA）	55
問 28：時間があれば今以上に積極的に取り組みたいこと（SA）	56
問 29：10年後の道志村がどんな村であってほしいか（FA）	58
問 30：人口確保の実現のために有効と思われる施策、事業（FA）	65
問 31：未来の道志村の村づくりについて自由意見（FA）	75

調査概要

① 調査の目的

「道志村総合計画」、「道志村人口ビジョン・総合戦略」策定にあたり、日頃考えていることや将来の希望などについて、広く村民の意見を聞くことを目的とする。

② 調査時期

アンケート期間：平成 27 年 9 月 18 日（金）～10 月 2 日（金）

③ 調査対象

- 道志村に在住する 18 歳以上の村民から無作為抽出
- 調査対象者数：1,000 人

④ 調査方法

郵送による配布・回収

⑤ 回収結果

・回収数	461 件
・うち有効回収数	460 件
・有効回収率	46.0%

⑥ 本報告書中の記号、調査結果の数値等について

(S A) 単一回答 (Single Answer) の略。選択回答は 1 項目のみ。

(M A) 複数回答 (Multi Answer) の略。

(一部回答を限定しているものもある。)

複数回答における回答率は 100%を超える場合がある。

(N A) 数値回答 (Numeric Answer) の略。該当する数値を記入するもの。

(F A) 自由回答 (Free Answer) の略。回答者の考えを自由に記入するもの。

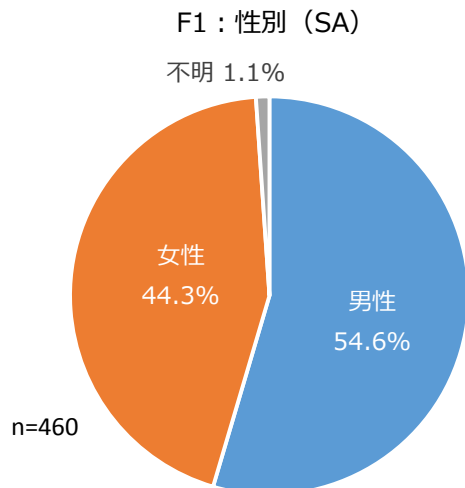
n 回答者数 (number) をあらわす。「n = 100」は、回答者数が 100 人ということ。

前回調査 現行の道志村総合計画策定の際実施した「道志村総合計画アンケート調査」(平成 18 年 5 月)を示す。

各回答項目の構成比は、小数点第二位を四捨五入しているため、各項目の合計が 100%にならない場合もある。

F1 : 性別 (SA)

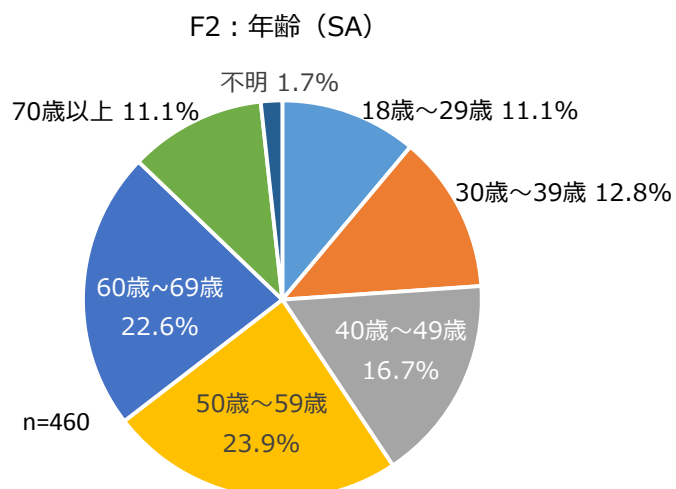
回答者の内訳を性別で見ると、「男性」が 54.6%、「女性」が 44.3%となっている。



	N	%
男性	251	54.6%
女性	204	44.3%
不明	5	1.1%
サンプル数	460	100.0%

F2 : 年齢 (SA)

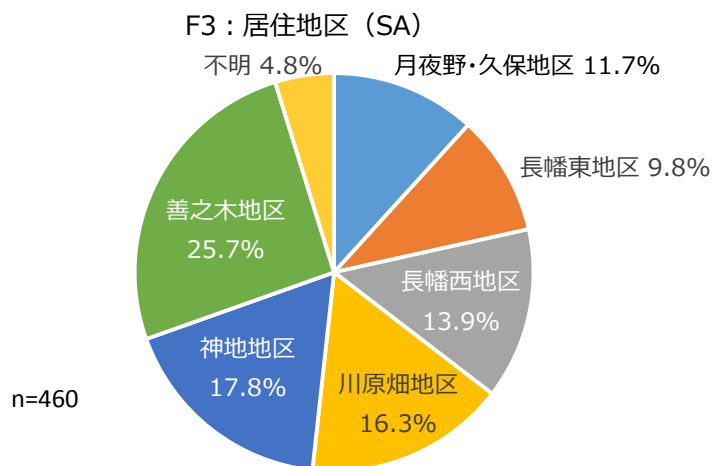
回答者の内訳を年齢別で見ると、「50歳代」が 23.9%を占め最も多く、以下、「60歳代」が 22.6%、「40歳代」が 16.7%と続いている。



	N	%
18歳~29歳	51	11.1%
30歳~39歳	59	12.8%
40歳~49歳	77	16.7%
50歳~59歳	110	23.9%
60歳~69歳	104	22.6%
70歳以上	51	11.1%
不明	8	1.7%
サンプル数	460	100.0%

F3 : 居住地区 (SA)

回答者の内訳を居住地区別で見ると、「善之木地区」が 25.7% を占め最も多く、以下、「神地地区」が 17.8%、「川原畑地区」が 16.3% と続いている。

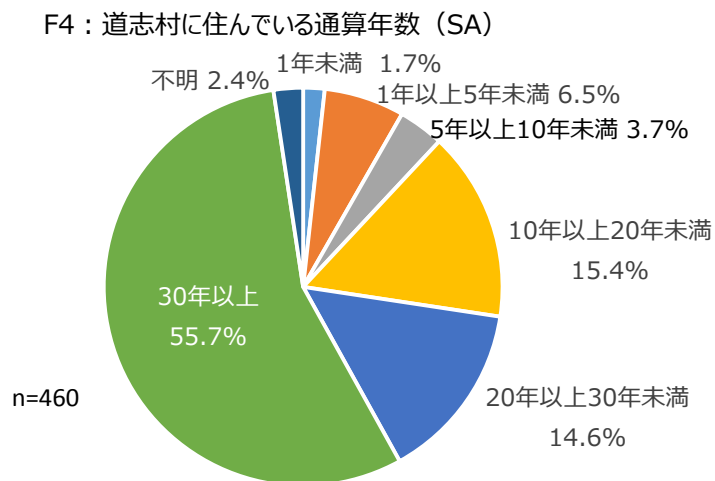


	N	%
月夜野・久保地区	54	11.7%
長幡東地区	45	9.8%
長幡西地区	64	13.9%
川原畑地区	75	16.3%
神地地区	82	17.8%
善之木地区	118	25.7%
不明	22	4.8%
サンプル数	460	100.0%

F4 : 道志村に住んでいる通算年数 (SA)

回答者の内訳を道志村に住んでいる通算年数別で見ると、「30年以上」が 55.7% を占め最も多く、以下、「10年以上 20年未満」が 15.4%、「20年以上 30年未満」が 14.6% と続いている。

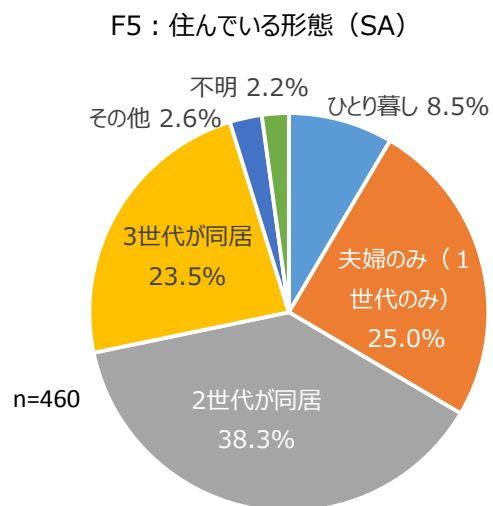
前回調査（調査概要参照）と比べて、「30年以上」の回答が減少しており、回答者の居住年数は短くなっている。



	N	%
1年未満	8	1.7%
1年以上 5年未満	30	6.5%
5年以上 10年未満	17	3.7%
10年以上 20年未満	71	15.4%
20年以上 30年未満	67	14.6%
30年以上	256	55.7%
不明	11	2.4%
サンプル数	460	100.0%

F5 : 住んでいる形態 (SA)

回答者の内訳を住んでいる形態別で見ると、「2世代が同居」が38.3%を占め最も多く、以下、「夫婦のみ（1世代のみ）」が25.0%、「3世代が同居」が23.5%と続いている。

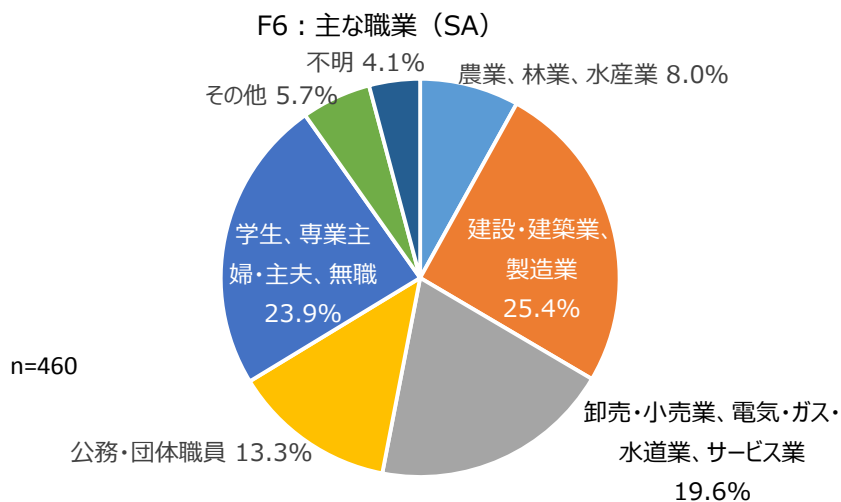


	N	%
ひとり暮らし	39	8.5%
夫婦のみ（1世代のみ）	115	25.0%
2世代が同居	176	38.3%
3世代が同居	108	23.5%
その他	12	2.6%
不明	10	2.2%
サンプル数	460	100.0%

F5:その他	件数
3人	1
4世代	4
彼女と同居	1
妹	1
無回答	5
計	12

F6：主な職業（SA）

回答者の内訳を主な職業別でみると、「建設・建築業、製造業」が 25.4%を占め最も多く、以下、「学生、専業主婦・主夫、無職」が 23.9%、「卸売・小売業、電気・ガス・水道業、サービス業」が 19.6%と続いている。



	N	%
農業、林業、水産業	37	8.0%
建設・建築業、製造業	117	25.4%
卸売・小売業、電気・ガス・水道業、サービス業	90	19.6%
公務・団体職員	61	13.3%
学生、専業主婦・主夫、無職	110	23.9%
その他	26	5.7%
不明	19	4.1%
サンプル数	460	100.0%

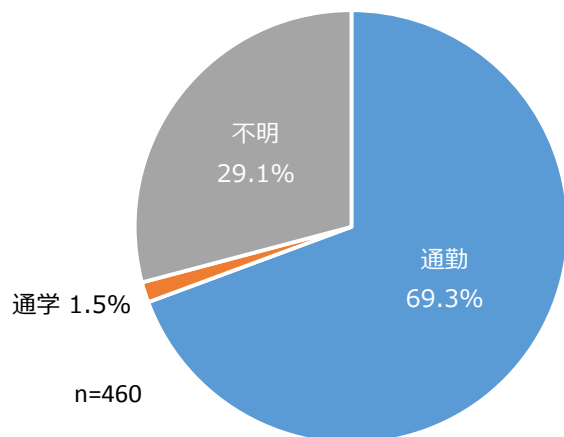
F6:その他	件数
パート	1
フリーター	1
会社員	2
事務	1
自営	1
自営業	1
自営手伝い	1
漫画家、イラストレーター	1
無回答	17
計	26

F7(1) : 通勤・通学 (SA)

回答者の内訳を通勤、通学の別で見ると、「通勤」が69.3%を占め、「通学」は1.5%にとどまっている。

なお、「不明」は、ほぼすべて高齢退職者、主婦・主夫（通勤・通学対象外者）となっている。

F7(1) : 通勤、通学の別 (SA)

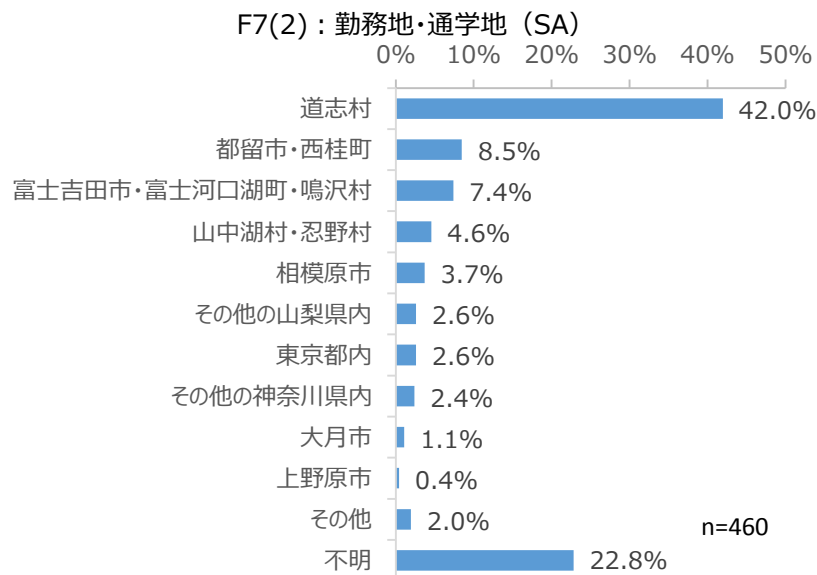


	N	%
通勤	319	69.3%
通学	7	1.5%
不明	134	29.1%
サンプル数	460	100.0%

F7(2) : 通勤地・通学地 (SA)

回答者の内訳を通勤地・通学地別で見ると、「道志村」が42.0%を占め最も多く、以下、「都留市・西桂町」が8.5%、「富士吉田市・富士河口湖町・鳴沢村」が7.4%と続いている。

なお、「不明」は、ほとんどが高齢退職者、主婦・主夫（通勤・通学対象外者）となっている。



	N	%
道志村	193	42.0%
都留市・西桂町	39	8.5%
富士吉田市・富士河口湖町・鳴沢村	34	7.4%
山中湖村・忍野村	21	4.6%
相模原市	17	3.7%
その他の山梨県内	12	2.6%
東京都内	12	2.6%
その他の神奈川県内	11	2.4%
大月市	5	1.1%
上野原市	2	0.4%
その他	9	2.0%
不明	105	22.8%
サンプル数	460	100.0%

F7:その他_山梨県内	件数
甲府市	4
色々	1
無回答	7
計	12

F7:東京都内	件数
世田谷区	1
八王子	1
無回答	10
計	12

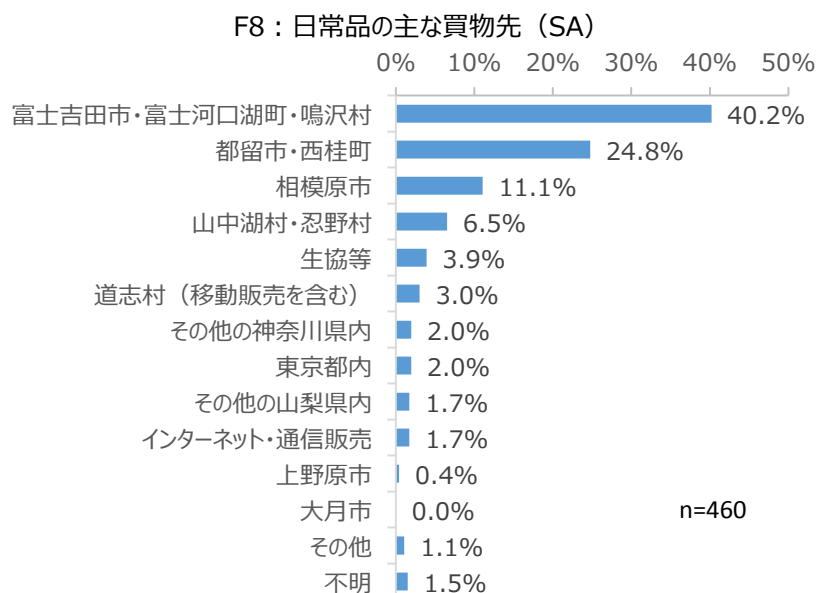
F7:その他_神奈川県内	件数
横浜市	1
横浜市緑区	1
海老名市	1
厚木市	2
秦野市	1
無回答	5
計	11

F7:その他	件数
長野県	1
静岡県	2
山梨県、神奈川県、東京都	1
無回答	5
計	9

F8：日用品の主な買物先（SA）

回答者の内訳を日用品の主な買物先別で見ると、「富士吉田市・富士河口湖町・鳴沢村」が40.2%を占め最も多く、以下、「都留市・西桂町」が24.8%、「相模原市」が11.1%と続いている。

なお、前回調査（調査概要参照）と比べると、大型店の開店が相次いだ「富士吉田市・富士河口湖町・鳴沢村」が7.2ポイント上昇した反面、「道志村」が3.0%と7.0ポイント低下しているのが目立つ。



	N	%
富士吉田市・富士河口湖町・鳴沢村	185	40.2%
都留市・西桂町	114	24.8%
相模原市	51	11.1%
山中湖村・忍野村	30	6.5%
生協等	18	3.9%
道志村（移動販売を含む）	14	3.0%
その他の神奈川県内	9	2.0%
東京都内	9	2.0%
その他の山梨県内	8	1.7%
インターネット・通信販売	8	1.7%
上野原市	2	0.4%
大月市	0	0.0%
その他	5	1.1%
不明	7	1.5%
サンプル数	460	100.0%

F8:その他_山梨県内	件数
甲府市	1
無回答	7
計	8

F8:東京都内	件数
八王子	2
無回答	7
計	9

F8:その他_神奈川県内	件数
平塚市	1
横浜市	1
川崎市、横浜市	1
いろいろ	1
無回答	5
計	9

F8:その他	件数
長野県	1
静岡県	1
御殿場市	1
静岡県御殿場市	1
決まっていない	1
計	5

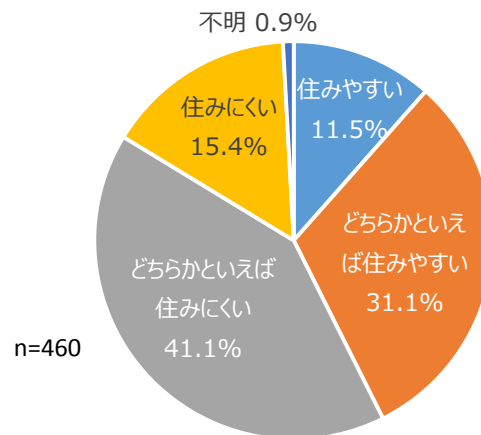
問 1：道志村の住みやすさ（SA）

道志村の住みやすさについては、「どちらかといえば住みにくい」が 41.1%を占め最も多く、以下、「どちらかといえば住みやすい」が 31.1%、「住みにくい」が 15.4%と続いている。「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた「住みやすい派」と「住みにくい」と「どちらかというとも住みにくい」を合わせた「住みにくい派」を比べると、「住みやすい派」は 42.6%、「住みにくい派」は 56.5%となり「住みにくい派」が「住みやすい派」を上回っている。

前回調査と比べると、前回は「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」の合計が 57.2%、「住みにくい」、「どちらかといえば住みにくい」は 41.7%であったことから、この 10 年で逆転した結果となっている。

年齢別にみると、50 歳代以下は「住みにくい派」の割合が高く、60 歳以上では「住みやすい派」の割合が高くなっている。

問1：道志村の住みやすさ（SA）



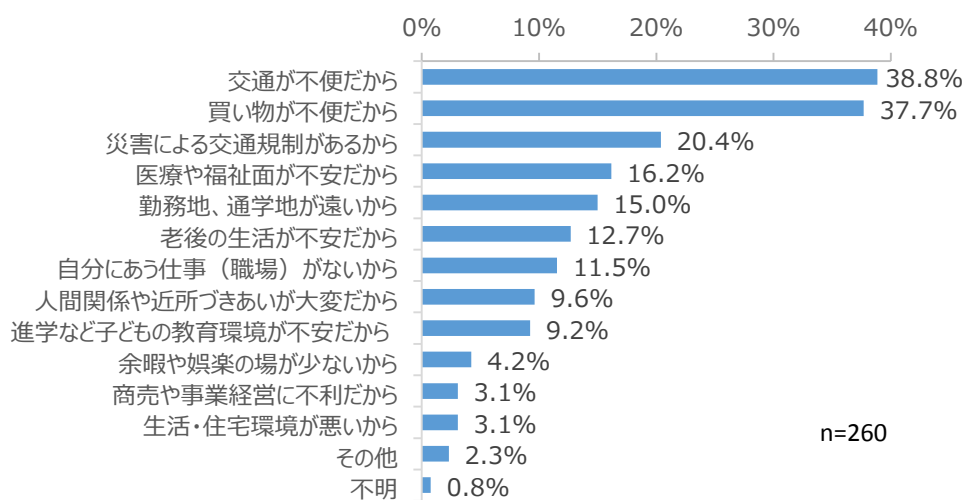
	N	%
住みやすい	53	11.5%
どちらかといえば住みやすい	143	31.1%
どちらかといえば住みにくい	189	41.1%
住みにくい	71	15.4%
不明	4	0.9%
サンプル数	460	100.0%

問2：「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と思う主な理由（MA）

「どちらかといえば住みにくい」、「住みにくい」と回答した方がそう思う主な理由については（2項目まで選択）、「交通が不便だから」が38.8%、「買い物が不便だから」が37.7%を占め、他の項目を引き離す結果となった。

年齢別にみると、「勤務地、通学地が遠いから」、「買い物が不便だから」は若年層で比較的多く、「医療や福祉面が不安だから」、「老後の生活が不安だから」は高齢層で目立つ。なお、トップの「交通が不便だから」については、年齢層間で大きな違いはみられなかった。こうした結果から、若年層ほど生活の利便性に不満を感じており、年齢が上がるに連れ今後の生活に不安を抱いていると考えられる。

問2：「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と思う主な理由（MA）



※「どちらかと言えば住みにくい」「住みにくい」と回答した方

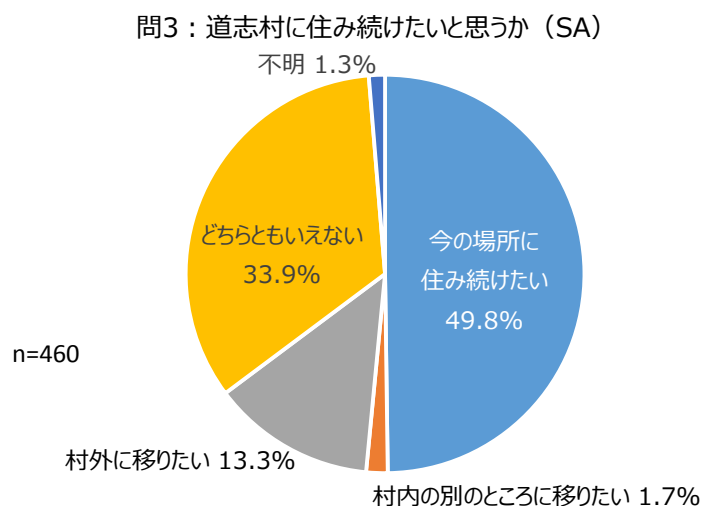
	件	%
交通が不便だから	101	38.8%
買い物不便だから	98	37.7%
災害による交通規制があるから	53	20.4%
医療や福祉面が不安だから	42	16.2%
勤務地、通学地が遠いから	39	15.0%
老後の生活が不安だから	33	12.7%
自分にあう仕事（職場）がないから	30	11.5%
人間関係や近所づきあいが大変だから	25	9.6%
進学など子どもの教育環境が不安だから	24	9.2%
余暇や娯楽の場が少ないから	11	4.2%
商売や事業経営に不利だから	8	3.1%
生活・住宅環境が悪いから	8	3.1%
その他	6	2.3%
不明	2	0.8%
サンプル数	260	100.0%

問 2：その他	件数
税金が高い	1
悪口を言う人が多い	1
不動産の流動性が低すぎるから	1
保険や税金が高い	1
公園がなく、子供を安心して遊ばせられる場所がない	1
役場のための村になっている	1
計	6

問3：道志村に住み続けたいと思うか（SA）

これからも道志村に住み続けたいかという設問については、「今の場所に住み続けたい」が49.8%を占め最も多く、以下、「どちらともいえない」が33.9%、「村外に移りたい」が13.3%と続いている。

年齢別にみると、60歳以上では「今の場所に住み続けたい」が70%を超えているが、年齢が若くなるほど総じて「村外に移りたい」、「どちらともいえない」が多くなっており、移住について考え、迷っていることが窺われる。特に20歳代以下では「村外に移りたい」が25.5%と4人に1人に達している。



	N	%
今の場所に住み続けたい	229	49.8%
村内の別のところに移りたい	8	1.7%
村外に移りたい	61	13.3%
どちらともいえない	156	33.9%
不明	6	1.3%
サンプル数	460	100.0%

問 4：道志村の施策についての評価（SA）

道志村が実施している各種施策についての村民の評価について、「非常に満足している」、「満足している」、「やや満足している」の合計値をみると、「水環境の保全・排水対策」が最も大きく75.2%に達し、以下、「防災施設・防災体制」が66.3%、「情報ネットワークの整備」が65.9%と続いている。一方、「非常に不満である」、「不満である」、「やや不満である」の合計値をみると、「雇用確保・定住化対策・移住促進」が最も大きく67.0%に達し、以下、「公共交通の整備」が62.6%、「地域医療」、「商工業の振興」が各々60.9%と続いている。

これを「満足度」という指標（注1）でみると、全22項目中、満足度がプラスの項目は14、マイナスの項目は8となっており総体的にはプラスの項目数の方が多い。最も数値が高い項目は「水環境の保全・排水対策」で54.8となっており、以下、「防災施設・防災体制」の38.5、「情報ネットワーク整備」の38.0と続いている。一方、最も低いのは「雇用確保・定住化対策・移住促進」で-40.4となっており、次いで「公共交通の整備」が-31.5、「商工業の振興」が-30.2となっている。

（注1）満足度＝「非常に満足している」＋「満足している」＋「やや満足している」
－「やや不満である」－「不満である」－「非常に不満である」
「満足度」がプラスの場合、総体的に満足度が高く、マイナスの場合不満が高いとみることができる。

満足度を前回調査（注2）と比べてみると、満足度の上昇が大きいのは、「情報ネットワークの整備」で、光ファイバー網の整備が進んだことを反映し57.6ポイント上昇しており、以下、「水環境の保全・排水対策（自然環境の保全）」が32.1ポイント、「水環境の保全・排水対策（し尿・排水対策の推進）」が28.7ポイント各上昇と続いている。

一方、満足度の低下が最も大きいのは「雇用確保・定住化対策・移住促進（住宅・宅地の供給）」で、短期居住用住宅の不足が指摘されるなか74.1ポイント低下したほか、「地域医療」で45.0ポイント、「商工業の振興」で31.2ポイント各々低下している。

（注2）比較においては、調査項目に一部相違があるため、該当する項目がない場合は比較を行っていない。また、項目が統合・分離された場合は統合・分離前の項目と比較を行った。

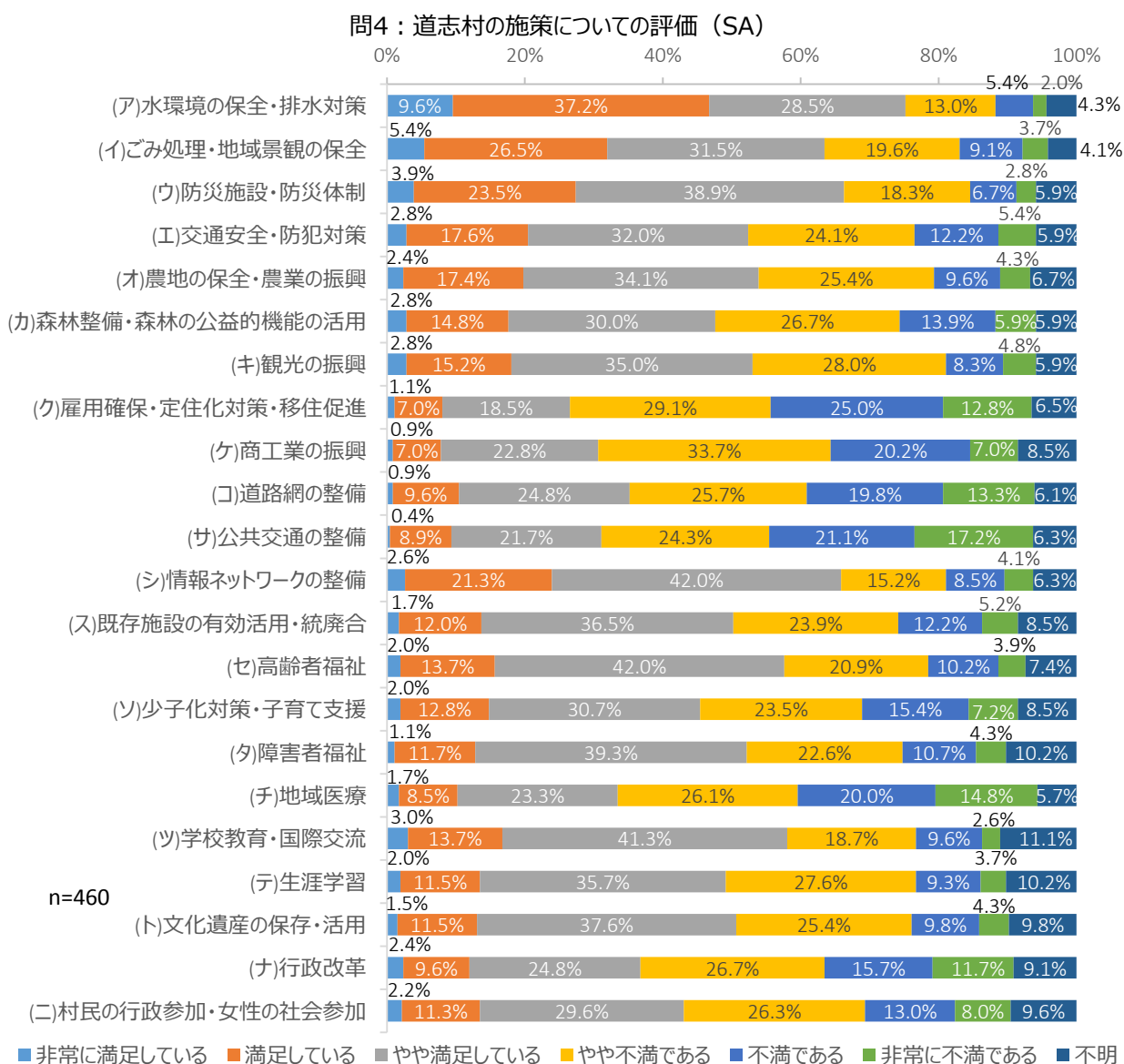
項目別にみると、上位では、「水資源の保全・排水対策」は、70歳以上（第2位）を除いて各年齢層とも最も満足度が高くなっている。また、「防災施設・防災体制」は、20歳代以下（第4位）を除いて各年代とも3位となっている。一方、「情報ネットワークの整備」は、50歳代以上の年齢層で1位もしくは2位となっているものの、若年層では相対的にそれほど上位には位置していない。

下位では、「雇用確保・定住化対策・移住促進」は、4つの年齢層で最下位にあるほか、他の2つの年齢層でも20位、21位となっており、年齢層に関係なく厳しい評価となっている。また、「公共交通の整備」、「商工業の振興」も同様に各年齢層とも下位の評価となっているが、「公共交通の整備」は50歳代以下で、「商工業の振興」は60歳代で特に厳しい評価となっている。

年齢別にみると、20歳代以下では、すべての項目の満足度が回答者全体の数値を上回っており、「ごみ処理・地域景観の保全」、「防災施設・防災体制」、「農地の保全・農業の振興」の評価が全体と比べて特に高い。30歳代では、「少子化対策・子育て支援」、「障害者福祉」、「農地の保全・農業の振興」、「文化遺産の保存・活用」の評価が全体と比べて特に高い。40歳代では、「水環境

の保全・排水対策」、「学校教育・国際交流」、「雇用確保・定住化対策・移住促進」の評価が全体と比べて特に高い。

これに対して、50歳代では、すべての項目で満足度が回答者全体を下回っており、「雇用確保・定住化対策・移住促進」、「地域医療」、「道路網の整備」の評価が全体と比べて特に低い。また、60歳代でも、回答者全体を下回る評価が多く、「商工業の振興」、「森林整備・森林の公益的機能の活用」で特に低い。一方、70歳以上では、再び評価が向上しすべての項目で満足度が回答者全体を上回っているが、「村民の行政参加・女性の社会参加」、「公共交通の整備」、「行政改革」の評価が全体と比べて特に高くなっている。

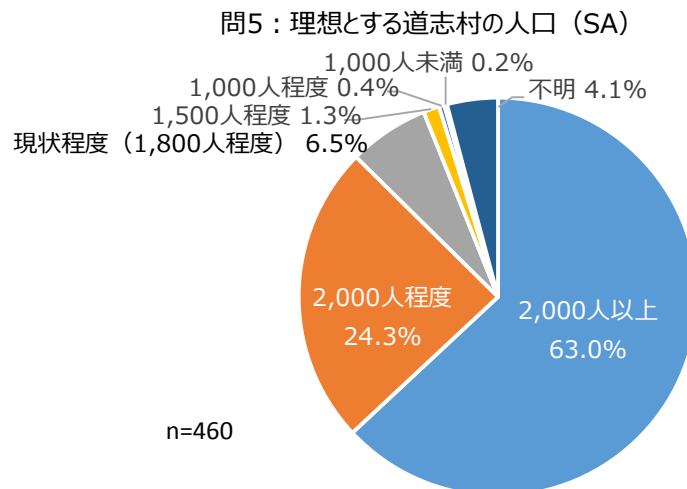


	非常に満足している	満足している	やや満足している	やや不満である	不満である	非常に不満である	不明	サンプル数
(ア)水環境の保全・排水対策	44	171	131	60	25	9	20	460
(イ)ごみ処理・地域景観の保全	25	122	145	90	42	17	19	460
(ウ)防災施設・防災体制	18	108	179	84	31	13	27	460
(エ)交通安全・防犯対策	13	81	147	111	56	25	27	460
(オ)農地の保全・農業の振興	11	80	157	117	44	20	31	460
(カ)森林整備・森林の公益的機能の活用	13	68	138	123	64	27	27	460
(キ)観光の振興	13	70	161	129	38	22	27	460
(ク)雇用確保・定住化対策・移住促進	5	32	85	134	115	59	30	460
(ケ)商工業の振興	4	32	105	155	93	32	39	460
(コ)道路網の整備	4	44	114	118	91	61	28	460
(サ)公共交通の整備	2	41	100	112	97	79	29	460
(シ)情報ネットワークの整備	12	98	193	70	39	19	29	460
(ス)既存施設の有効活用・統廃合	8	55	168	110	56	24	39	460
(セ)高齢者福祉	9	63	193	96	47	18	34	460
(ソ)少子化対策・子育て支援	9	59	141	108	71	33	39	460
(タ)障害者福祉	5	54	181	104	49	20	47	460
(チ)地域医療	8	39	107	120	92	68	26	460
(ツ)学校教育・国際交流	14	63	190	86	44	12	51	460
(テ)生涯学習	9	53	164	127	43	17	47	460
(ト)文化遺産の保存・活用	7	53	173	117	45	20	45	460
(ナ)行政改革	11	44	114	123	72	54	42	460
(ニ)村民の行政参加・女性の社会参加	10	52	136	121	60	37	44	460

問5：理想とする道志村の人口（SA）

理想とする道志村の人口については、「2,000人以上」が63.0%と最も多く、以下、「2,000人程度」が24.3%、「現状程度（1,800人程度）」が6.5%と続いている。減少傾向が今後も見込まれる中で、以前の賑わい復活への期待が窺える。

なお、若年層で「現状程度（1,800人程度）」の率が若干高くなっているものの、年齢による差異はあまり大きくない。



	N	%
2,000人以上	290	63.0%
2,000人程度	112	24.3%
現状程度（1,800人程度）」	30	6.5%
1,500人程度	6	1.3%
1,000人程度	2	0.4%
1,000人未満	1	0.2%
不明	19	4.1%
サンプル数	460	100.0%

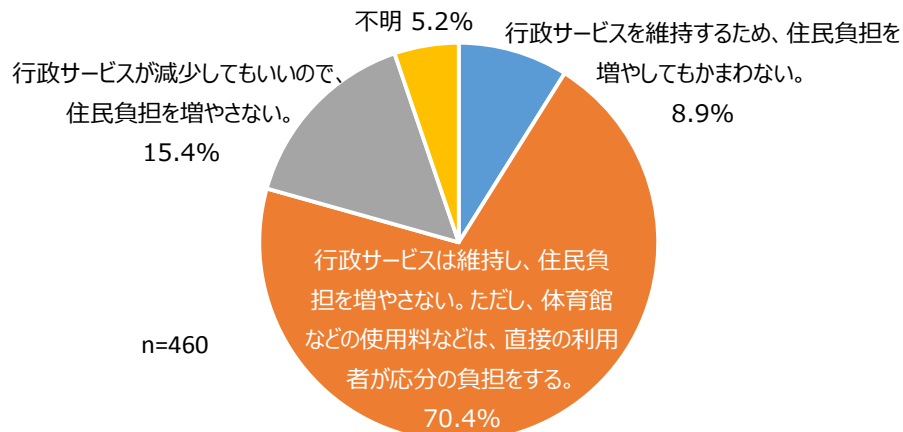
問6：行政サービスと住民負担のあり方（SA）

行政サービスと住民負担のあり方については、「行政サービスは維持し、住民負担を増やさない。ただし、体育館などの使用料などは、直接の利用者が応分の負担をする。」が70.4%と最も多く、以下、「行政サービスが減少してもいいので、住民負担を増やさない。」が15.4%、「行政サービスを維持するため、住民負担を増やしてもかまわない。」が8.9%の順となった。

年齢別にみると、若年層では「行政サービスを維持するため、住民負担を増やしてもかまわない。」、「行政サービスが減少してもいいので、住民負担を増やさない。」が比較的多く2極化が、高齢層では「行政サービスは維持し、住民負担を増やさない。ただし、体育館などの使用料などは、直接の利用者が応分の負担をする。」へ集中する傾向が、どちらかというところと窺える。

前回調査と比べると、「行政サービスは維持し、住民負担を増やさない。ただし、体育館などの使用料などは、直接の利用者が応分の負担をする。」が15ポイント以上増えており、受益者負担の考え方が広がっていることが窺える。

問6：行政サービスと住民負担のあり方（SA）



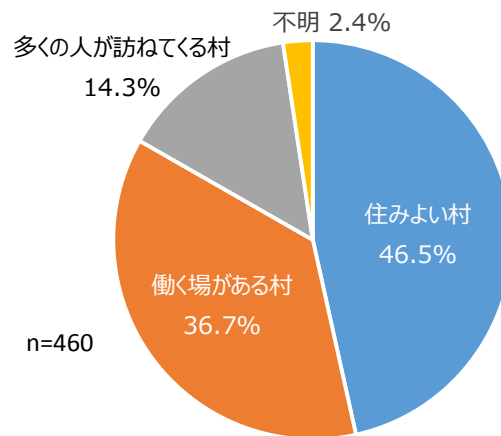
	N	%
行政サービスを維持するため、住民負担を増やしてもかまわない。	41	8.9%
行政サービスは維持し、住民負担を増やさない。ただし、体育館などの使用料などは、直接の利用者が応分の負担をする。	324	70.4%
行政サービスが減少してもいいので、住民負担を増やさない。	71	15.4%
不明	24	5.2%
サンプル数	460	100.0%

問7：今後目指すべき村の姿（SA）

今後目指すべき村の姿としては、「住みよい村」が46.5%と最も多く、以下、「働く場がある村」が36.7%、「多くの人が訪ねてくる村」が14.3%となった。雇用の確保（「働く場がある村」）や観光などによる交流人口の増加（「多くの人が訪ねてくる村」）も必要としながら、生活環境の向上を期待する姿が窺える。

年齢別にみると、大きな違いはみられないものの、若年層では「多くの人が訪ねてくる村」を、高齢層では「働く場がある村」を望む傾向がやや強い。

問7：今後目指すべき村の姿（SA）



	N	%
住みよい村	214	46.5%
働く場がある村	169	36.7%
多くの人が訪ねてくる村	66	14.3%
不明	11	2.4%
サンプル数	460	100.0%

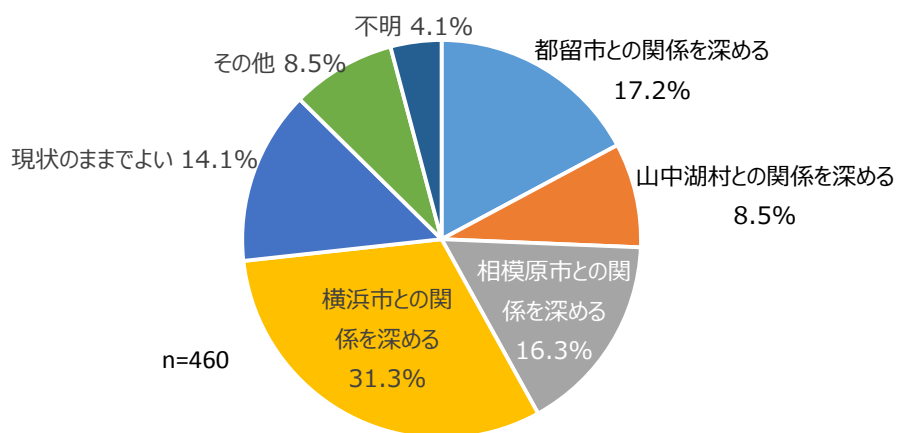
問 8：他の市町村との関係についてどうあるべきだと考えるか（SA）

他の市町村との関係（連携のあり方）については、「横浜市との関係を深める」が 31.3%と最も多く、以下、「都留市との関係を深める」が 17.2%、「相模原市との関係を深める」が 16.3%となった。これをみると、山梨県内自治体より神奈川県内自治体との連携を重視する傾向にある。

年齢別にみると、「横浜市との関係を深める」が高齢層で比較的高いが、総じて大きな違いはみられない。

一方、居住地域別でみると、住居地から最も近い市町村を回答した傾向がやや窺える。

問8：他の市町村との関係についてどうあるべきと考えるか（SA）



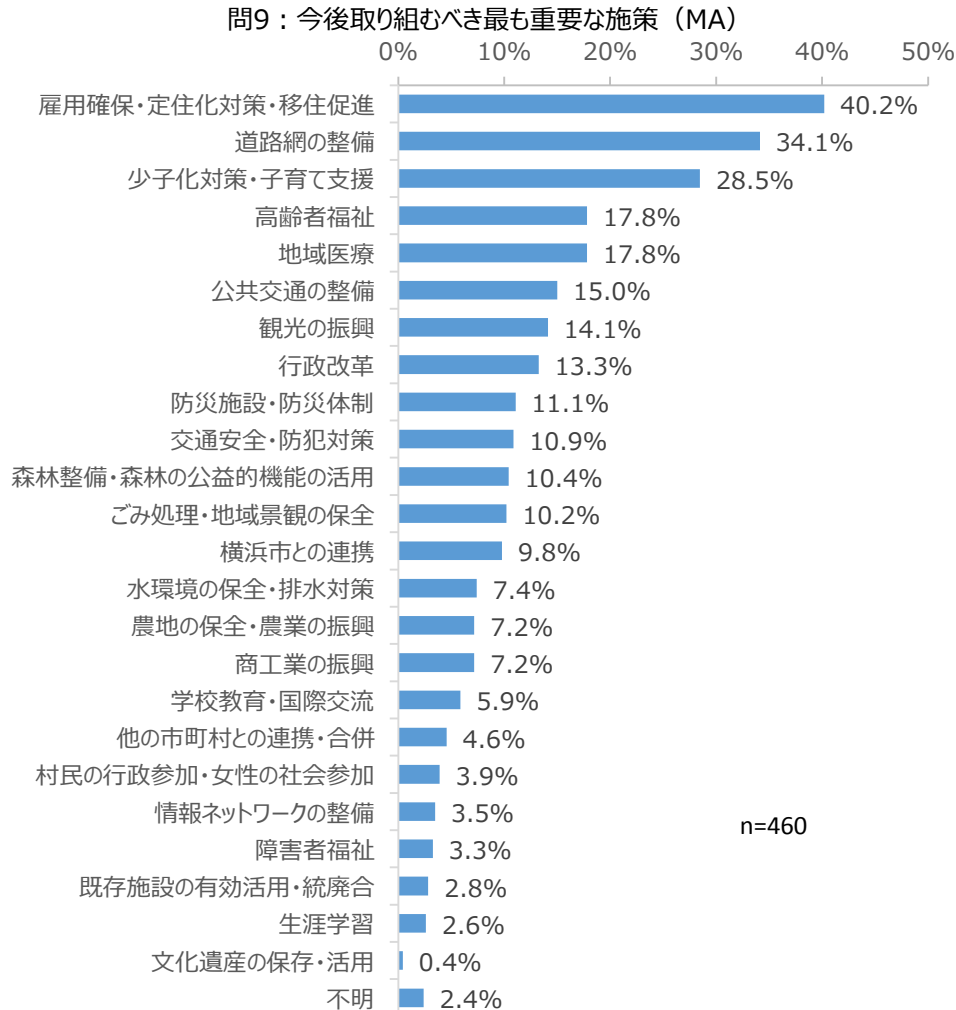
	N	%
都留市との関係を深める	79	17.2%
山中湖村との関係を深める	39	8.5%
相模原市との関係を深める	75	16.3%
横浜市との関係を深める	144	31.3%
現状のままでよい	65	14.1%
その他	39	8.5%
不明	19	4.1%
サンプル数	460	100.0%

問 8:その他	件数
1～4のように、特定の市町村との関係を深めることに注力するのではなく、もっと広域的な関係を築くべきである	1
1～4番で挙げた市町村と関係を深める	1
1つの市町村との関係を深めるのではなく、事項によって連携する市町村を選択していくほうが良い	1
いろいろなところと関係を深める	1
この問題は、場所は関係なくしてもらいたい	1
どことも仲良く交流。小さくても道志村はしっかり立ち立できるアイデアを考えよう。置いてけぼり廃村はごめんだ	1
どこの市町村とも交流を深めた方がよい	1
まずは郡内地域との交流を深めるべき	1
一地域に偏らない関係	1
横浜市だけでなく、他の市町村との関係を良くする	1
何の事業に着手するかによってどの地域との関係を深めるか違うと思う	1
関係の趣旨がわかりませんので、回答出来ません	1
近隣にとらわれないで、道志村の色を出して欲しい	1
近隣は全て関係を良くするべき	1
近隣市全てと関係を深める	1
近隣市町村と関係を深めていく	1
近隣市町村全て及び横浜市	1
限らず関係を深める	1
限られた市町村ではなく、色々な市町村との関係を深めた方がよい	1
限定しない	1
山中湖、忍野村、富士吉田市方面	1
自立した協働の村づくり	1
周りと関係を深めることは、どこじゃなくした方がいい	1
全て	1
全てを深める	1
他のところが、関係を深めたいような村	1
他の市などとも関係を深める	1
都留市、山中湖村、相模原市、でも道路を最短にして欲しい	1
分からない	3
隣接する市町村との関係を深める	1
なんとも言えないです	1
無回答	6
計	39

問9：今後取り組むべき最も重要な施策（MA）

今後取り組むべき最も重要な施策は（3項目まで選択）、「雇用確保・定住化対策・移住促進」が40.2%を占め最も多く、以下、「道路網の整備」が34.1%、「少子化対策・子育て支援」が28.5%と続いている。

年齢別にみると、若年層では「道路網の整備」、「少子化対策・子育て支援」の支持が相対的に高く、年齢が上がるに連れて「ごみ処理・地域景観の保全」、「森林整備・森林の公益的機能の活用」、「高齢者福祉」が高くなるという傾向が窺える。



	件	%
雇用確保・定住化対策・移住促進	185	40.2%
道路網の整備	157	34.1%
少子化対策・子育て支援	131	28.5%
高齢者福祉	82	17.8%
地域医療	82	17.8%
公共交通の整備	69	15.0%
観光の振興	65	14.1%
行政改革	61	13.3%
防災施設・防災体制	51	11.1%
交通安全・防犯対策	50	10.9%
森林整備・森林の公益的機能の活用	48	10.4%
ごみ処理・地域景観の保全	47	10.2%
横浜市との連携	45	9.8%
水環境の保全・排水対策	34	7.4%
農地の保全・農業の振興	33	7.2%
商工業の振興	33	7.2%
学校教育・国際交流	27	5.9%
他の市町村との連携・合併	21	4.6%
村民の行政参加・女性の社会参加	18	3.9%
情報ネットワークの整備	16	3.5%
障害者福祉	15	3.3%
既存施設の有効活用・統廃合	13	2.8%
生涯学習	12	2.6%
文化遺産の保存・活用	2	0.4%
不明	11	2.4%
サンプル数	460	100.0%

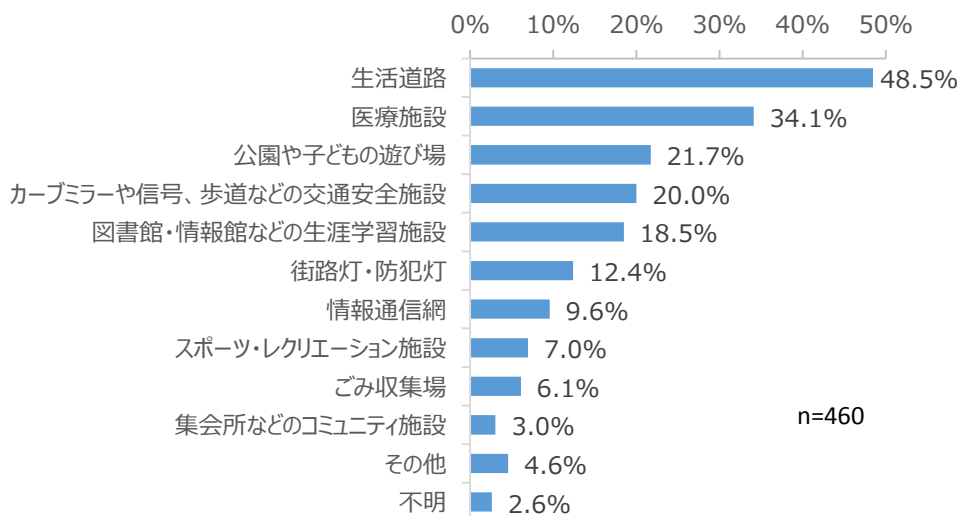
問 10：生活環境の中で整備が必要だと考える施設（MA）

身近な生活環境の中で整備が必要だと考える施設は（2項目まで選択）、「生活道路」が48.5%を占め最も多く、以下、「医療施設」が34.1%、「公園や子どもの遊び場」が21.7%と続いている。

年齢別にみると、「公園や子どもの遊び場」、「図書館・情報館などの生涯学習施設」は若年層で、「医療施設」は高齢層で比較的多い。

前回調査と比べると、幅広い村民に関わる重要な生活インフラである「生活道路」、「医療施設」で10ポイント以上増えた反面、光ファイバー網の整備に伴い「情報通信網」が30ポイント弱と大幅に減少している。

問10：生活環境の中で整備が必要だと考える施設（MA）



	件	%
生活道路	223	48.5%
医療施設	157	34.1%
公園や子どもの遊び場	100	21.7%
カーブミラーや信号、歩道などの交通安全施設	92	20.0%
図書館・情報館などの生涯学習施設	85	18.5%
街路灯・防犯灯	57	12.4%
情報通信網	44	9.6%
スポーツ・レクリエーション施設	32	7.0%
ごみ収集場	28	6.1%
集会所などのコミュニティ施設	14	3.0%
その他	21	4.6%
不明	12	2.6%
サンプル数	460	100.0%

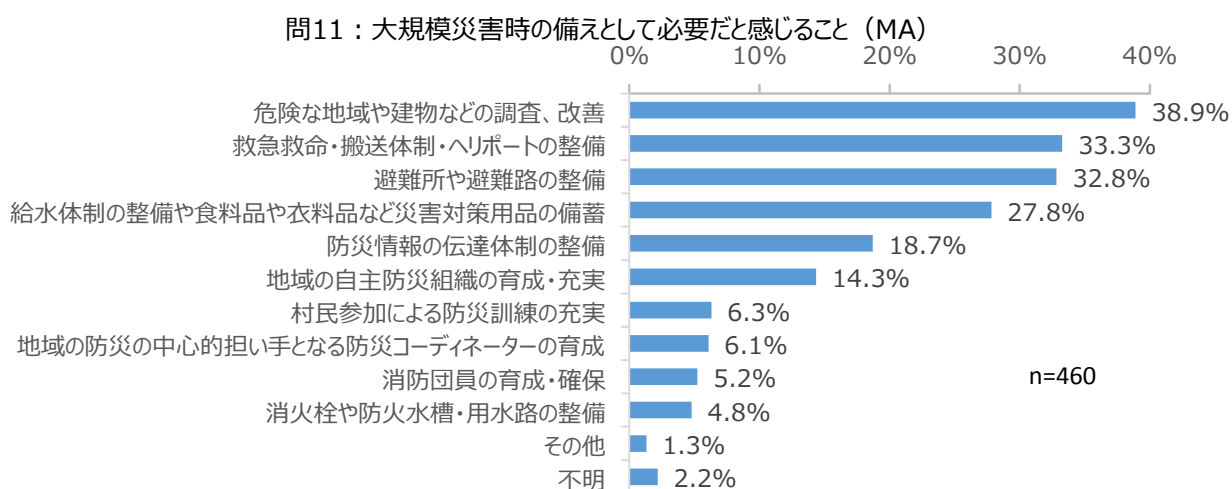
問 10 : その他	件数
店	1
商店	1
コンビニ	2
村営コンビニエンスストアの開設	1
食品販売の店、スーパー、コンビニなど	1
ドクターヘリの整備（離発地）	1
医師の選定、及び医療システム	1
訪問介護、看護の医師との連携。医師の常時 24 時間往診体制	1
障害者の入所施設	1
温水プールの有効活用	1
学童の充実	1
既存施設の活用	1
工場などへの土地の誘致	1
粗大ゴミの収集をもっと増やして欲しい（年 4 回）	1
道路の確保	1
移住相談窓口（観光案内等）のある施設	1
屋外になるスピーカーが聞こえにくい	1
1～10 に欲しいものはない	1
なし	1
無回答	1
計	21

11：大規模災害時の備えとして必要だと感じること（MA）

地震や水害などの大規模災害時の備えとして必要だと感じることは（2項目まで選択）、「危険な地域や建物などの調査、改善」が38.9%を占め最も多く、以下、「救急救命・搬送体制・ヘリポートの整備」が33.3%、「避難所や避難路の整備」が32.8%と続いている。

年齢別では、「避難所や避難路の整備」、「防災情報の伝達体制の整備」は若年層で、「消火栓や防火水槽・用水路の整備」は高齢層で比較的回答が目立つ。

前回調査と比べると、公共施設の老朽化問題の顕在化を反映し、「危険な地域や建物などの調査、改善」が大きく伸びたほか、「地域の自主防災組織の育成・充実」なども増加した反面、「避難所や避難路の整備」、「給水体制の整備や食料品や衣料品など災害対策用品の備蓄」などは減少している。



	件	%
危険な地域や建物などの調査、改善	179	38.9%
救急救命・搬送体制・ヘリポートの整備	153	33.3%
避難所や避難路の整備	151	32.8%
給水体制の整備や食料品や衣料品など災害対策用品の備蓄	128	27.8%
防災情報の伝達体制の整備	86	18.7%
地域の自主防災組織の育成・充実	66	14.3%
村民参加による防災訓練の充実	29	6.3%
地域の防災の中心的担い手となる防災コーディネーターの育成	28	6.1%
消防団員の育成・確保	24	5.2%
消火栓や防火水槽・用水路の整備	22	4.8%
その他	6	1.3%
不明	10	2.2%
サンプル数	460	100.0%

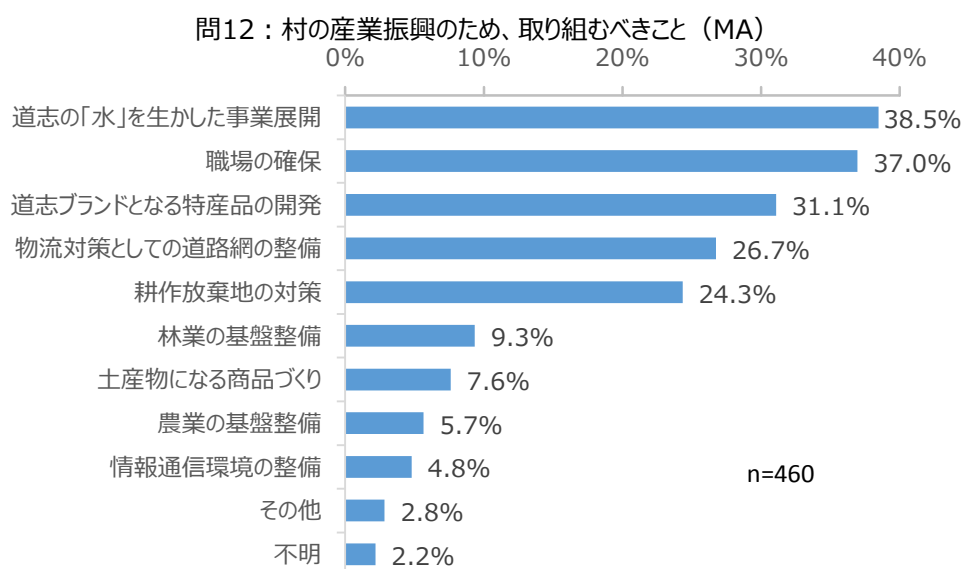
問 11：その他	件数
役場庁舎の新築	1
現在でも雨が少し降ると、国・県道が通行止めになるのでその対策。又、道路の崖崩れが予想されるので、その対策	1
近隣の市区町村との相互援助の体制作り	1
トンネル	1
道路の確保	1
集落毎の防災拠点の整備	1
計	6

問 12：村の産業振興のため、取り組むべきこと（MA）

村の産業振興（農林水産業・商業・工業）のため、取り組むべきことは（2項目まで選択）、「道志の『水』を生かした事業展開」が38.5%を占め最も多く、以下、「職場の確保」が37.0%、「道志ブランドとなる特産品の開発」が31.1%と続いている。これをみると、インフラ整備よりも道志村の特色を生かした事業や商品化への取り組みに期待していることが窺える。

年齢別にみると、「道志の『水』を生かした事業展開」は若年層で、「林業の基盤整備」は高齢層で比較的多い。

前回調査と比べると、「道志ブランドとなる特産品の開発」、「物流対策としての道路網の整備」が10ポイント以上増えた反面、「情報通信環境の整備」は光ファイバー網の整備に伴い20ポイントを超える大幅な減少となった。



	件	%
道志の「水」を生かした事業展開	177	38.5%
職場の確保	170	37.0%
道志ブランドとなる特産品の開発	143	31.1%
物流対策としての道路網の整備	123	26.7%
耕作放棄地の対策	112	24.3%
林業の基盤整備	43	9.3%
土産物になる商品づくり	35	7.6%
農業の基盤整備	26	5.7%
情報通信環境の整備	22	4.8%
その他	13	2.8%
不明	10	2.2%
サンプル数	460	100.0%

問 12：その他	件数
農・林業・商業等の後継者の育成が必要だと思う	1
山梨などの企業への土地の誘致	1
起業支援	1
電気自動車が住める村	1
コンビニ	1
冬でも野菜が作れる方法（共同温室等）又は、大規模な温室での会社と職場の確保	1
都会の人が道志をどう使いたいか？利用、活用	1
企業の経営サポート	1
全部！	1
別にどうでもいい	1
顧客（横浜市民、企業など）の確保	1
企業誘致	1
無回答	1
計	13

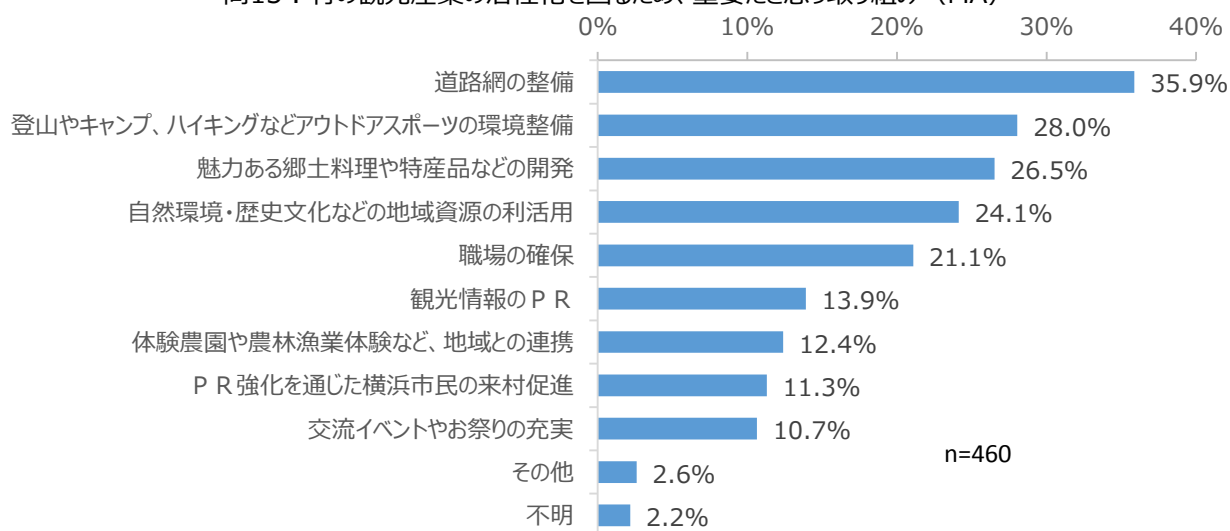
問 13：村の観光産業の活性化を図るため、重要だと思う取り組み（MA）

村の観光産業の活性化を図るため、重要だと思う取り組みは（2項目まで選択）、「道路網の整備」が35.9%を占め最も多く、以下、「登山やキャンプ、ハイキングなどアウトドアスポーツの環境整備」が28.0%、「魅力ある郷土料理や特産品などの開発」が26.5%と続いている。

年齢別にみると、「登山やキャンプ、ハイキングなどアウトドアスポーツの環境整備」、「交流イベントやお祭りの充実」、「道路網の整備」は若年層で、「自然環境・歴史文化などの地域資源の利活用」、「魅力ある郷土料理や特産品などの開発」、「PR強化を通じた横浜市民の来村促進」は高齢層で比較的多い。

前回調査と比べてみると、「登山やキャンプ、ハイキングなどアウトドアスポーツの環境整備」などが増えた反面、「観光情報のPR」などが減少している。

問13：村の観光産業の活性化を図るため、重要だと思う取り組み（MA）



	件	%
道路網の整備	165	35.9%
登山やキャンプ、ハイキングなどアウトドアスポーツの環境整備	129	28.0%
魅力ある郷土料理や特産品などの開発	122	26.5%
自然環境・歴史文化などの地域資源の利活用	111	24.1%
職場の確保	97	21.1%
観光情報のPR	64	13.9%
体験農園や農林漁業体験など、地域との連携	57	12.4%
PR強化を通じた横浜市民の来村促進	52	11.3%
交流イベントやお祭りの充実	49	10.7%
その他	12	2.6%
不明	10	2.2%
サンプル数	460	100.0%

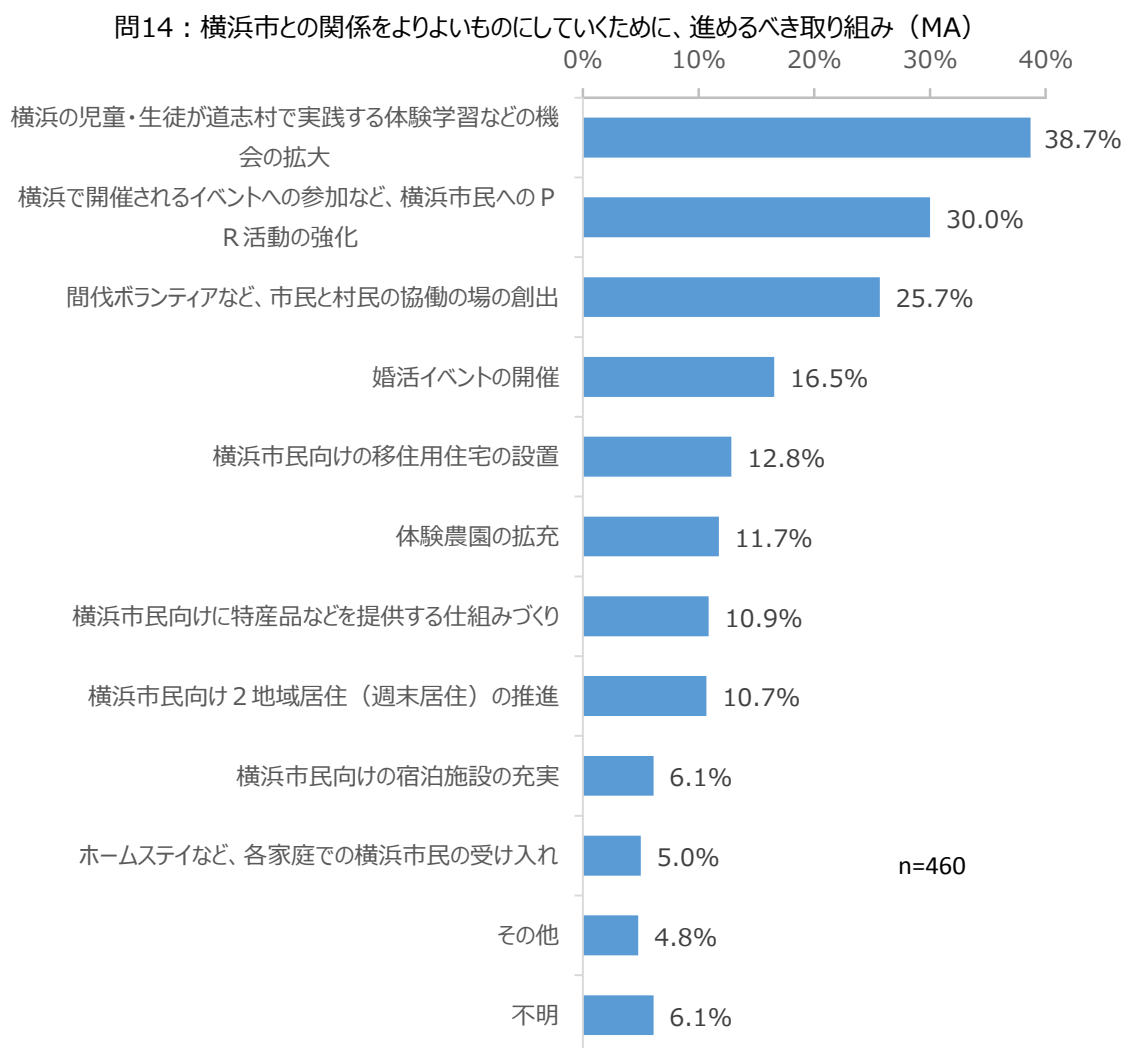
問 13：その他	件数
ほとんどの人が片手間で、本当に観光で生活しようとする人がいない。行政や観光協会等に頼りすぎる（他力本願）	1
合宿村にするなど大きな目標を持った設備をする。例えば、人工芝のグラウンドを作り色々なスポーツの団体を迎えるなど	1
別にどうでもいい	1
クレソンの村としてのP R	1
観光客から収入を得るための工夫	1
駐車場の確保（混雑時）	1
人材教育、サービス教育促進と研修は重要	1
道の駅「どうし」の充実と活用	1
情報通信環境の強化	1
例えば、的様の場所につつじ、アジサイ等の草木を春にはつつじの花が咲き、5月にはアジサイ等。今ある場所に草木を植える（お滝め滝等）	1
特色のある食文化を活かしていくこと	1
高齢者を多く含む空前のアウトドアスポーツ時代が来ているというのに、未だ道志村は通過点。マイカー族だけを待っていては、ぜひ訪れたいという人の多くは望めない	1
計	12

問 14：横浜市との関係をよりよいものにしていくために、進めるべき取り組み（MA）

横浜市との関係をよりよいものにしていくために、村が進めるべき取り組みは（2項目まで選択）、「横浜の児童・生徒が道志村で実践する体験学習などの機会の拡大」が38.7%で最も多く、以下、「横浜で開催されるイベントへの参加など、横浜市民へのPR活動の強化」が30.0%、「間伐ボランティアなど、市民と村民の協働の場の創出」が25.7%と続いている。

年齢別にみると、「体験農園の拡充」、「横浜市民向け2地域居住（週末居住）の推進」、「婚活イベントの開催」は若年層で、「間伐ボランティアなど、市民と村民の協働の場の創出」は高齢層で比較的回答が多い。

前回調査と比べると、連携強化による村の認知・村の活性化などへの期待が窺われ、「横浜で開催されるイベントへの参加など、横浜市民へのPR活動の強化」が17.8ポイントと大幅に増加した。



	件	%
横浜の児童・生徒が道志村で実践する体験学習などの機会の拡大	178	38.7%
横浜で開催されるイベントへの参加など、横浜市民へのPR活動の強化	138	30.0%
間伐ボランティアなど、市民と村民の協働の場の創出	118	25.7%
婚活イベントの開催	76	16.5%
横浜市民向けの移住用住宅の設置	59	12.8%
体験農園の拡充	54	11.7%
横浜市民向けに特産品などを提供する仕組みづくり	50	10.9%
横浜市民向け2地域居住（週末居住）の推進	49	10.7%
横浜市民向けの宿泊施設の充実	28	6.1%
ホームステイなど、各家庭での横浜市民の受け入れ	23	5.0%
その他	22	4.8%
不明	28	6.1%
サンプル数	460	100.0%

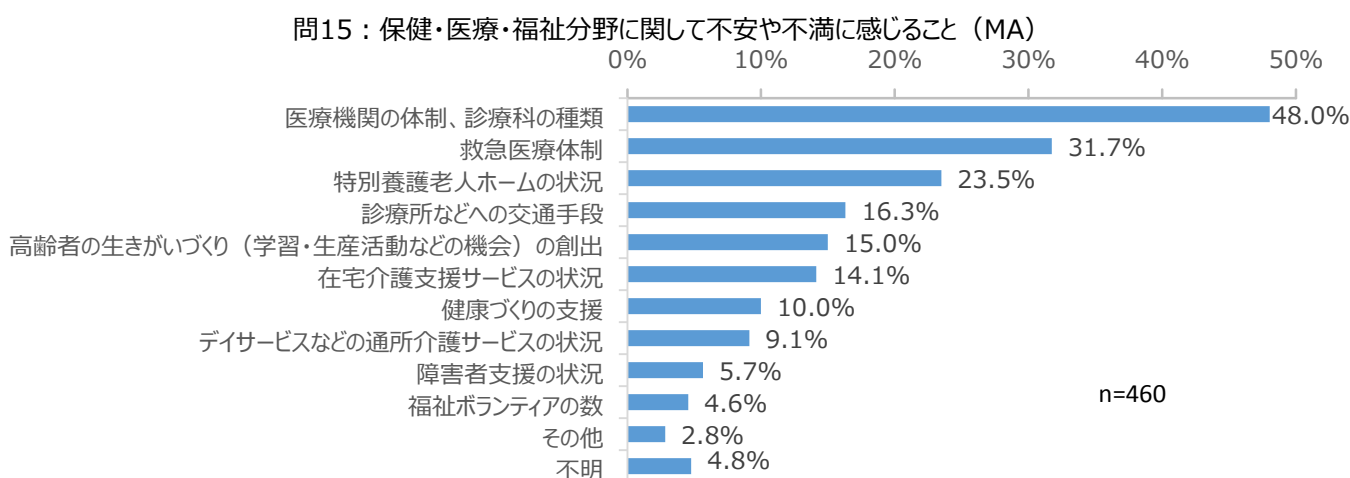
問 14：その他	件数
ご当地ラーメン屋招待	1
ハマッコ道志工場誘致	1
メモリアルパーク&樹墓	1
横浜からの受け入れだけでなく、道志村の子供達が出向き、交流・体験（含ホームステイ等）の機会を！	1
横浜の大人と子ども、家族と一緒に体験できること（農業、ハイキング、ものづくり）を作り出す。上の方に、みなもと体験館的なものをもう1つつくるなど	1
横浜へアンテナショップを出し、村をアピールする	1
横浜市が真に必要としている事に応えるものであること	1
横浜市の高齢者受入	1
横浜市をそんなに重要視する理由は何ですか	1
向こうから来たくなるような近場の田舎作り	1
職員の交流	1
村長が度々行って良い関係を作る事が何よりのPRに繋がる。そこから各方面に発展する	1
村民レベルで、横浜はどうでも良い（不必要）	1
道志川の保全	1
道志村の児童や生徒と横浜の児童や生徒の交流会	1
年単位での体験型更新住宅	1
あまり思わない	1
必要なし	1
無回答	4
計	22

問 15：保健・医療・福祉分野に関して不安や不満に感じること（MA）

保健・医療・福祉分野に関して不安や不満に感じることは（2項目まで選択）、「医療機関の体制、診療科の種類」が48.0%を占め最も多く、以下、「救急医療体制」が31.7%、「特別養護老人ホームの状況」が23.5%と続いている。これをみると、生活インフラ改善への期待が窺われる。

年齢別にみると、「医療機関の体制、診療科の種類」、「救急医療体制」、「福祉ボランティアの数」は若年層で、「在宅介護支援サービスの状況」、「特別養護老人ホームの状況」、「高齢者の生きがいづくり（学習・生産活動などの機会）の創出」は高齢層で各々比較的多く、どちらかといえば若年層は医療、高齢層は福祉への関心の高さが窺われる。

前回調査と比べてみると、「医療機関の体制、診療科の種類」が16.1ポイント増加した反面、「高齢者の生きがいづくり（学習・生産活動などの機会）の創出」が10ポイントを超える減少となったことが目立つ。



	件	%
医療機関の体制、診療科の種類	221	48.0%
救急医療体制	146	31.7%
特別養護老人ホームの状況	108	23.5%
診療所などへの交通手段	75	16.3%
高齢者の生きがいづくり（学習・生産活動などの機会）の創出	69	15.0%
在宅介護支援サービスの状況	65	14.1%
健康づくりの支援	46	10.0%
デイサービスなどの通所介護サービスの状況	42	9.1%
障害者支援の状況	26	5.7%
福祉ボランティアの数	21	4.6%
その他	13	2.8%
不明	22	4.8%
サンプル数	460	100.0%

問 15 : その他	件数
診療所の休日が多すぎる	1
診療所の休診が多くて、いざという時に困る	1
村民の事を考える医師の確保。力のある医師の確保	1
村外の病院への送迎	1
買い物への交通手段	1
自宅での自然死を見守る体制づくり。医師の往診	1
診療所の時間外診察	1
税金	1
現在の診療所は休みが多く、診療所を受診することは殆どない。村民は村外の病院に行く事が多く、非常に不満です	1
食育推進	1
(健康づくりの支援)の一環として、予防医学の充実、実践、教育(勉強)の推進を! 医療費(高齢者増加に伴う)の削減の為に努力も必要かと	1
道志村で働く医師の理解。かかりつけ患者をトータルケアして欲しい等	1
なし	1
計	13

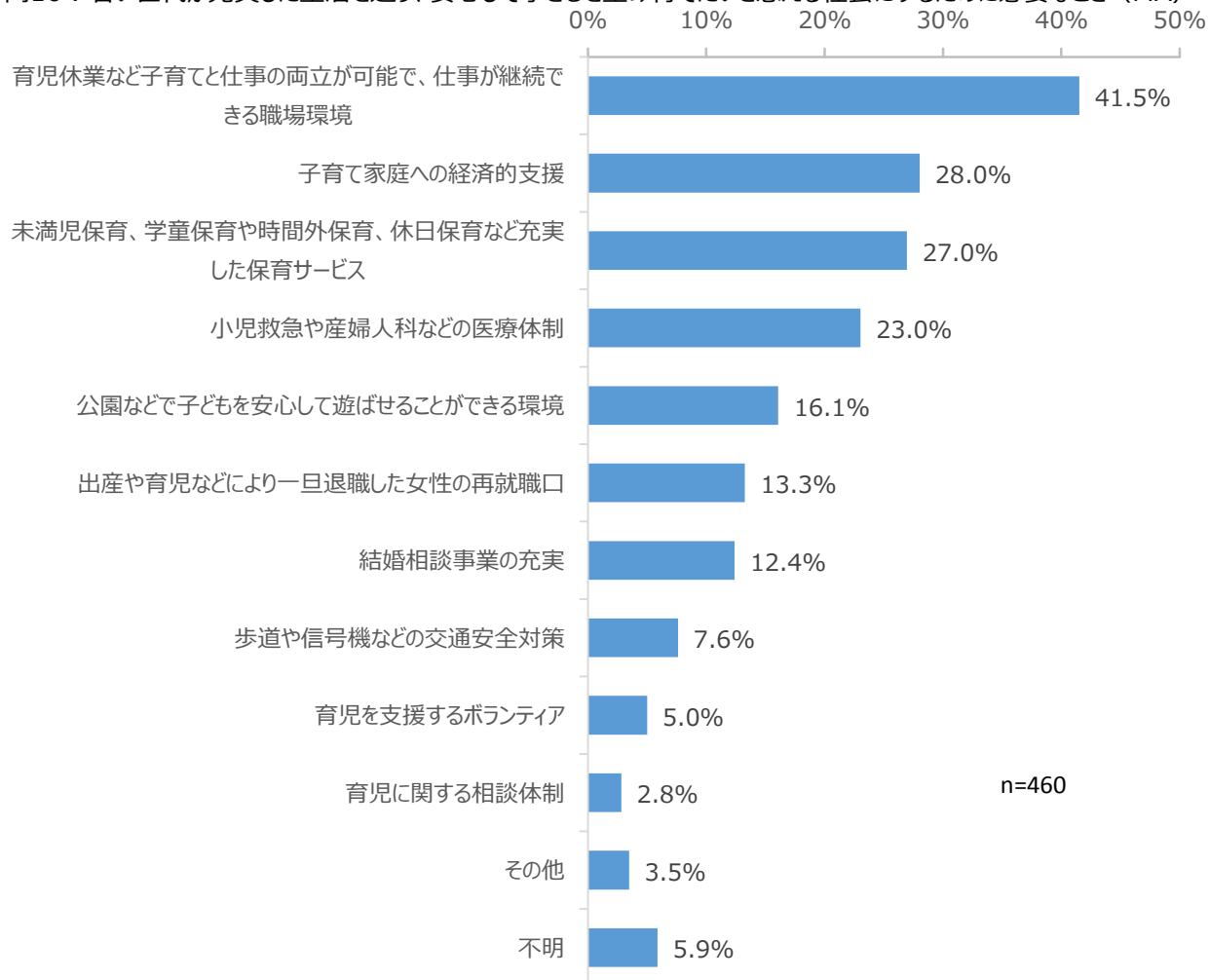
問 16：若い世代が充実した生活を送り、安心して子どもを産みたいと思える社会にするために必要なこと（MA）

少子化の現状を踏まえ、若い世代が充実した生活を送り、安心して子どもを産みたいと思える社会にするために必要なことは（2項目まで選択）、「育児休業など子育てと仕事の両立が可能で、仕事が継続できる職場環境」が41.5%と最も多く、以下、「子育て家庭への経済的支援」が28.0%、「未満児保育、学童保育や時間外保育、休日保育など充実した保育サービス」が27.0%と続いている。

年齢別にみると、「未満児保育、学童保育や時間外保育、休日保育など充実した保育サービス」で20歳代以下が、「公園などで子どもを安心して遊ばせることができる環境」で30歳代が比較的多いものの、高齢層も含めて大きな違いはない。

前回調査との比較でも、大きな違いはみられず、「小児救急や産婦人科などの医療体制」、「未満児保育、学童保育や時間外保育、休日保育など充実した保育サービス」での増加、「子育て家庭への経済的支援」での減少が若干目立つ程度となっている。

問16：若い世代が充実した生活を送り、安心して子どもを産みたいと思える社会にするために必要なこと（MA）



	件	%
育児休業など子育てと仕事の両立が可能で、仕事が継続できる職場環境	191	41.5%
子育て家庭への経済的支援	129	28.0%
未満児保育、学童保育や時間外保育、休日保育など充実した保育サービス	124	27.0%
小児救急や産婦人科などの医療体制	106	23.0%
公園などで子どもを安心して遊ばせることができる環境	74	16.1%
出産や育児などにより一旦退職した女性の再就職口	61	13.3%
結婚相談事業の充実	57	12.4%
歩道や信号機などの交通安全対策	35	7.6%
育児を支援するボランティア	23	5.0%
育児に関する相談体制	13	2.8%
その他	16	3.5%
不明	27	5.9%
サンプル数	460	100.0%

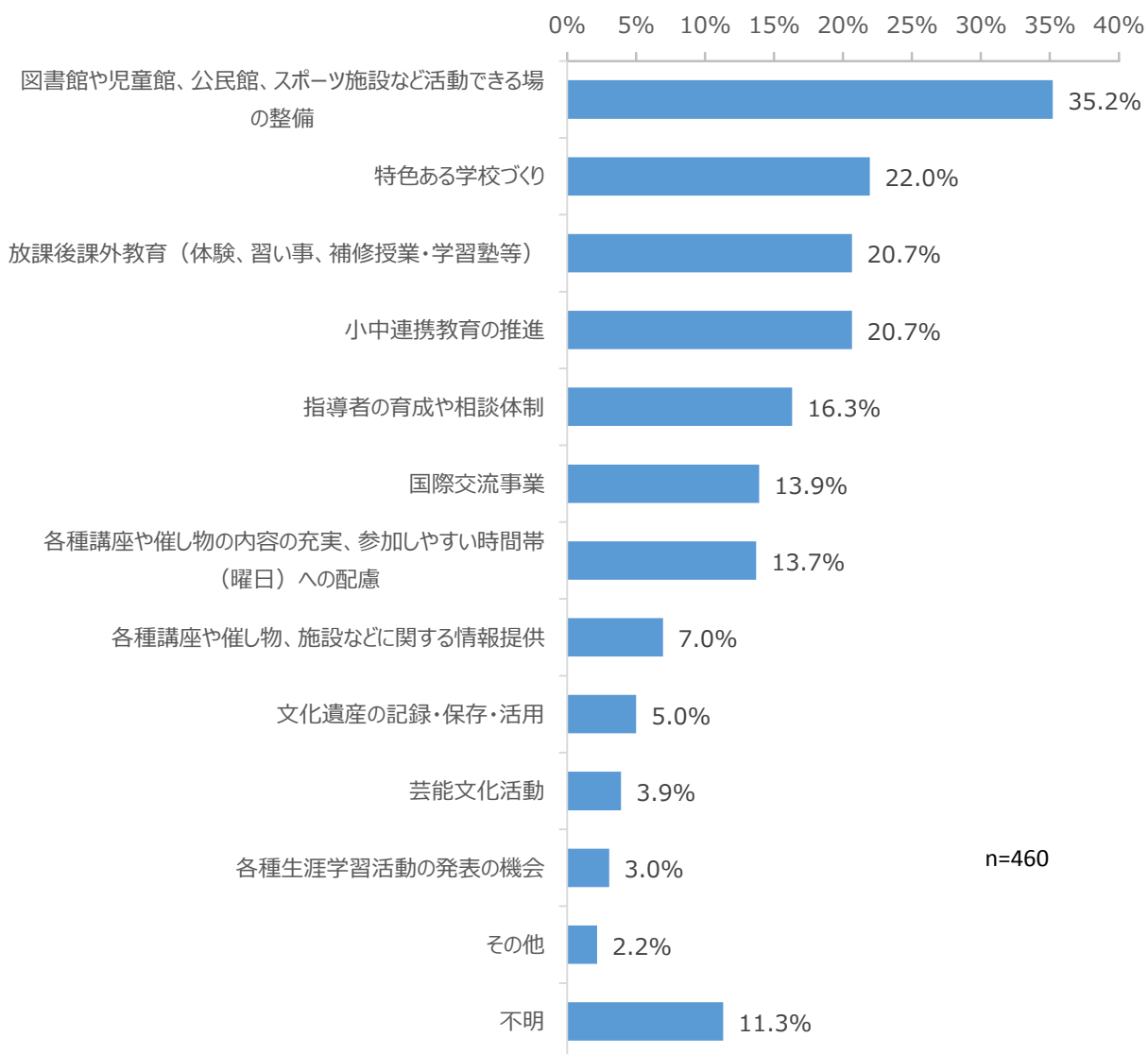
問 16 : その他	件数
若い世代の村内定住促進、通勤体制の充実	1
日本中の問題で、道志だけで考えてもどうにもならない	1
空き家バンクの設立、村外の移住の誘致	1
財源豊かな村にする	1
人口対策	1
父母の安定した収入	1
教育体制、方針が選択できる環境	1
職場の確保	1
若い人が村内から出て行かない職場の環境	1
それぞれの自主	1
人間関係、人の意見を尊重する	1
親切心	1
職場作り	1
高校通学環境の改善	1
若い人が住みたいと思うよう、住民の意識の改革	1
無回答	1
計	16

問 17：学校教育、生涯学習活動や芸術文化活動、スポーツ活動等に関して、もっと取り組んでほしいこと (MA)

学校教育、生涯学習活動や芸術文化活動、スポーツ活動等に関して、もっと取り組んでほしいことは（2項目まで選択）、「図書館や児童館、公民館、スポーツ施設など活動できる場の整備」が 35.2%で最も多く、以下、「特色ある学校づくり」が 22.0%、「放課後課外教育（体験、習い事、補修授業・学習塾等）」、「小中連携教育の推進」が各々20.7%と続いている。

年齢別にみると、「放課後課外教育（体験、習い事、補修授業・学習塾等）」や「図書館や児童館、公民館、スポーツ施設など活動できる場の整備」では若年層の支持が高く、「各種講座や催し物の内容の充実、参加しやすい時間帯（曜日）への配慮」や「文化遺産の記録・保存・活用」では高齢層で比較的回答が多い。

問17：学校教育、生涯学習活動や芸術文化活動、スポーツ活動等に関して、もっと取り組んでほしいこと (MA)



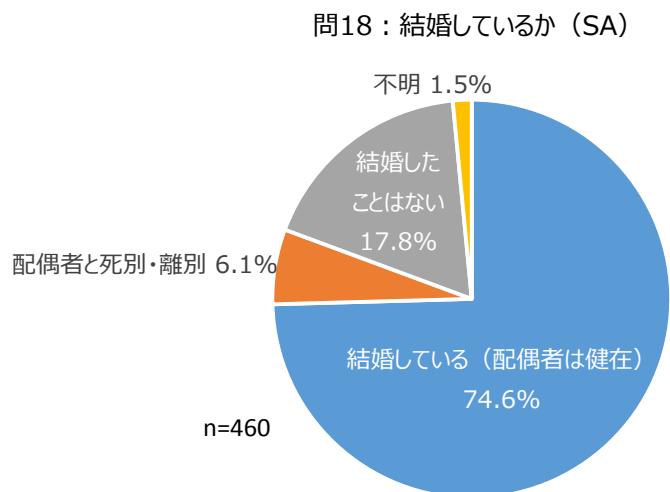
	件	%
図書館や児童館、公民館、スポーツ施設など活動できる場の整備	162	35.2%
特色ある学校づくり	101	22.0%
放課後課外教育（体験、習い事、補修授業・学習塾等）	95	20.7%
小中連携教育の推進	95	20.7%
指導者の育成や相談体制	75	16.3%
国際交流事業	64	13.9%
各種講座や催し物の内容の充実、参加しやすい時間帯（曜日）への配慮	63	13.7%
各種講座や催し物、施設などに関する情報提供	32	7.0%
文化遺産の記録・保存・活用	23	5.0%
芸能文化活動	18	3.9%
各種生涯学習活動の発表の機会	14	3.0%
その他	10	2.2%
不明	52	11.3%
サンプル数	460	100.0%

問 17：その他	件数
子供が増えることが先決である。設問はそれからの問題である	1
放課後の運動、遊び。学校で遊ぶことが出来れば、親が友達と遊ばせる為、友達の家を送り迎えすることもない。家でゲームをする事も少なくなる。健康増進、体力アップ、肥満防止にも繋がると思う	1
村行事	1
参加したいと思わせるような活動の創出	1
話し合いや会議の方法の高度な教育	1
村のどこに住んでいても自分を活かせる活動に参加できるドアウトドア（足）の充実	1
道志村ならではの少人数による質の高い教育体制と、自然環境を活用した教育	1
1～11 になし	1
よく分かりません	1
ありません	1
計	10

問 18 : 結婚しているか (SA)

婚姻状況については、「結婚している（配偶者は健在）」が 74.6%を占め最も多く、以下、「結婚したことはない」が 17.8%、「配偶者と死別・離別」が 6.1%と続いている。

年齢別にみると、20歳代以下では「結婚したことはない」が 90.2%を占めているが、40歳代・50歳代では9割弱が「結婚している（配偶者は健在）」となっている。なお、60歳代以上では「配偶者と死別・離別」も1割以上を占めている。

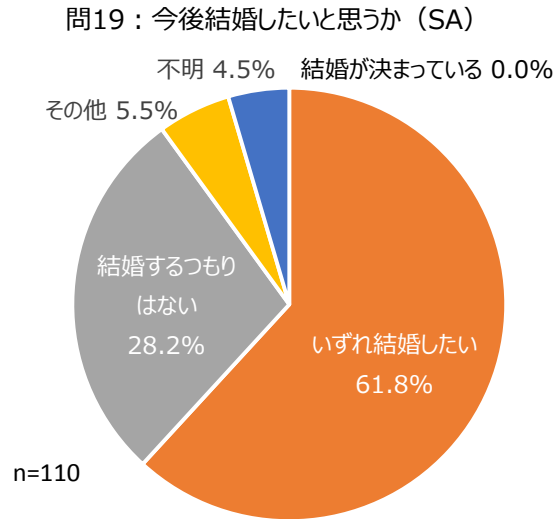


	N	%
結婚している（配偶者は健在）	343	74.6%
配偶者と死別・離別	28	6.1%
結婚したことはない	82	17.8%
不明	7	1.5%
サンプル数	460	100.0%

問 19 : 今後結婚したいと思うか (SA)

「配偶者と死別・離別」、「結婚したことはない」と回答した方に対して、今後の結婚の意志について尋ねたところ、「いずれ結婚したい」が 61.8%と最も多く、以下、「結婚するつもりはない」が 28.2%、「その他」が 5.5%となった。

年齢別にみると、50歳代までは「いずれ結婚したい」との回答が 80.2%を占め、ほとんどの人が結婚を望んでいる。一方、60歳代以上では、「配偶者と死別・離別」が大半を占めることから、「結婚するつもりはない」が 79.3%を占めた。



※「配偶者と死別・離別」「結婚したことはない」と回答した方

	N	%
結婚が決まっている	0	0.0%
いずれ結婚したい	68	61.8%
結婚するつもりはない	31	28.2%
その他	6	5.5%
不明	5	4.5%
サンプル数	110	100.0%

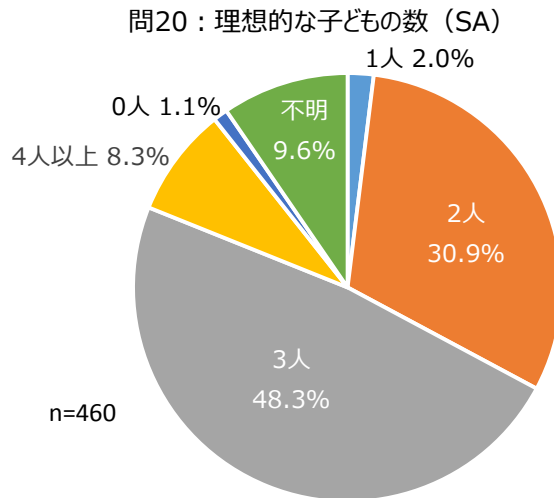
問 19:その他	件数
孤独死は避けたい	1
出会いがあれば	1
相手があつてのもの	1
気分次第	1
わからない	1
無回答	1
計	6

問 20 : 理想的な子どもの数 (SA)

理想的な子どもの数は、「3人」が48.3%を占め最も多く、以下、「2人」が30.9%、「4人以上」が8.3%と続いている。

年齢別にみると、20歳以下では「2人」が58.8%を占め最も多いが、30歳代以上では「3人」が最も多い。

なお、平均人数をみると、全体では2.67人となっているが、年齢別では、自身の育った環境の違いが窺われ、20歳以下が2.12人、30歳代が2.59人、40歳代が2.68人、50歳代が2.70人、60歳代が2.84人、70歳以上が2.95人と高齢層ほど多くなっている。



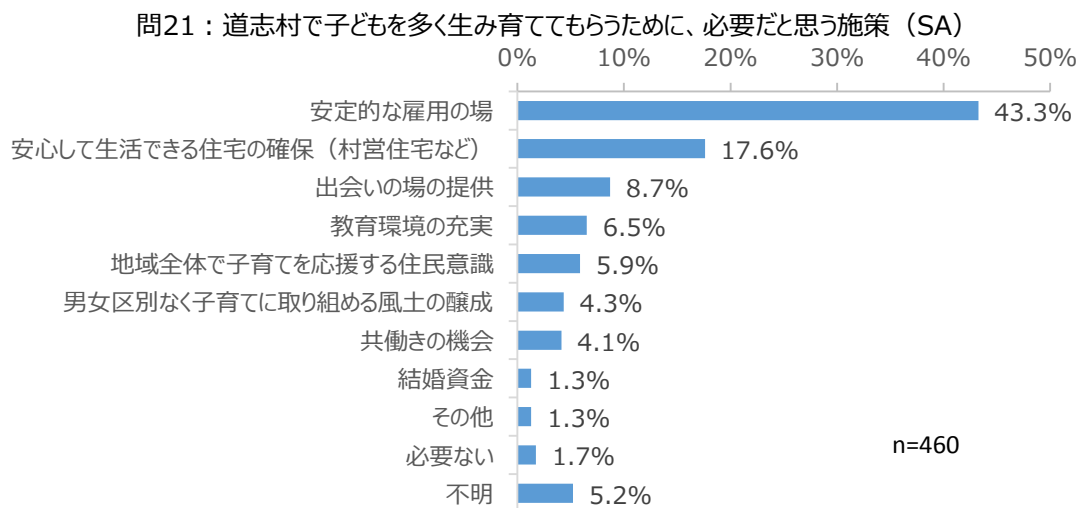
	N	%
1人	9	2.0%
2人	142	30.9%
3人	222	48.3%
4人以上	38	8.3%
0人	5	1.1%
不明	44	9.6%
サンプル数	460	100.0%

	平均希望人数
18歳～29歳	2.12
30歳～39歳	2.59
40歳～49歳	2.68
50歳～59歳	2.70
60歳～69歳	2.84
70歳以上	2.95
不明	3.14
全体平均	2.67

問 21：道志村で子どもを多く生み育ててもらうために、必要だと思う施策（SA）

道志村で子どもを多く生み育ててもらうために、必要だと思う施策は、「安定的な雇用の場」が43.3%を占め最も多く、以下、「安心して生活できる住宅の確保（村営住宅など）」が17.6%、「出会いの場の提供」が8.7%と続いている。

年齢別では、30歳代、40歳代で「安心して生活できる住宅の確保（村営住宅など）」が比較的多く、「安定的な雇用の場」は総じて高いものの特に50歳代以上で支持が多い。なお、回答者は少なかったものの、若年層では「結婚資金」や「共働きの機会」も相対的に目立った。



	N	%
安定的な雇用の場	199	43.3%
安心して生活できる住宅の確保（村営住宅など）	81	17.6%
出会いの場の提供	40	8.7%
教育環境の充実	30	6.5%
地域全体で子育てを応援する住民意識	27	5.9%
男女区別なく子育てに取り組める風土の醸成	20	4.3%
共働きの機会	19	4.1%
結婚資金	6	1.3%
その他	6	1.3%
必要ない	8	1.7%
不明	24	5.2%
サンプル数	460	100.0%

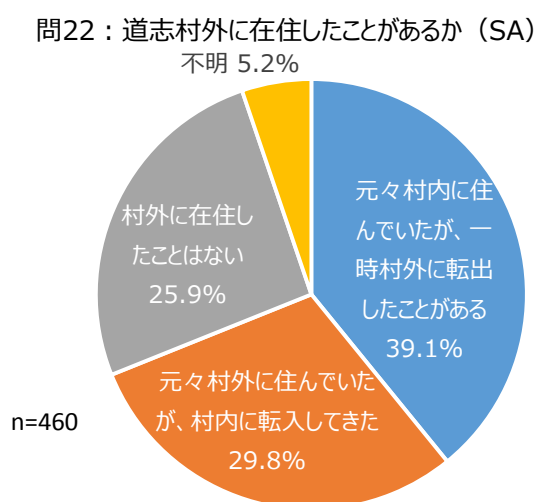
問 21:その他	件数		
若い世代の定住促進。通勤などの体制充実	1	上記項目の多くが必要と思われる	1
保育環境と生活環境の充実	1	公園など子供が楽しめる場所が村内にある事	1
住みやすい村を作る事ではないでしょうか？	1	不便性を無くす	1
		計	6

問 22：道志村外に在住したことがあるか（SA）

道志村外への在住経験の有無については、「元々村内に住んでいたが、一時村外に転出したことがある」が 39.1%を占め最も多く、「元々村外に住んでいたが、村内に転入してきた」が 29.8%、「村外に在住したことはない」が 25.9%となっている。

年齢別にみると、20歳以下、50歳代、60歳代で「元々村内に住んでいたが、一時村外に転出したことがある」が、30歳代、40歳代、70歳代以上で「元々村外に住んでいたが、村内に転入してきた」が各々最も多い。

なお、居住地区別では、長幡東地区で「元々村外に住んでいたが、村内に転入してきた」がトップとなった以外は、「元々村内に住んでいたが、一時村外に転出したことがある」が最も多くなっている。



	N	%
元々村内に住んでいたが、一時村外に転出したことがある	180	39.1%
元々村外に住んでいたが、村内に転入してきた	137	29.8%
村外に在住したことはない	119	25.9%
不明	24	5.2%
サンプル数	460	100.0%

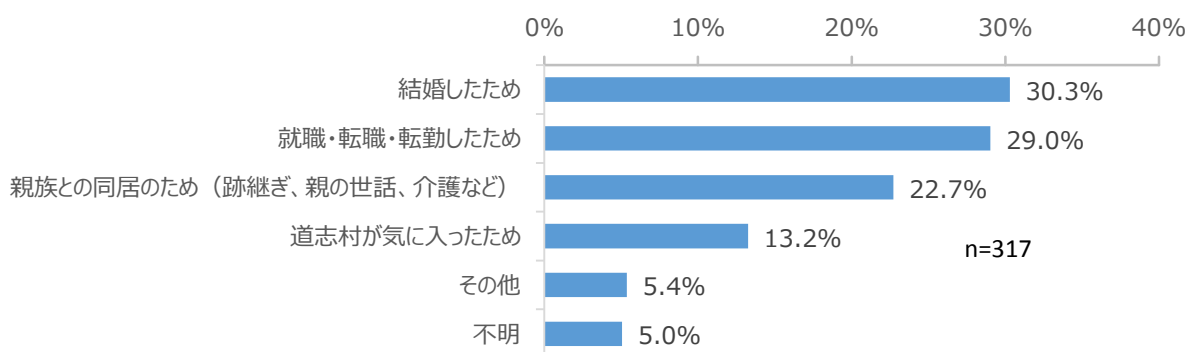
問 23：道志村に転入してきた理由（MA）

「元々村内に住んでいたが、一時村外に転出したことがある」、「元々村外に住んでいたが、村内に転入してきた」と回答した方に対して、道志村に転入してきた理由を尋ねたところ（いくつでも選択）、「結婚したため」が30.3%を占め最も多く、以下、「就職・転職・転勤したため」が29.0%、「親族との同居のため（跡継ぎ、親の世話、介護など）」が22.7%となった。

年齢別にみると、30歳代以下では「就職・転職・転勤したため」、40歳代では「結婚したため」、50歳代では「就職・転職・転勤したため」、「結婚したため」（同率）、60歳代では「親族との同居のため（跡継ぎ、親の世話、介護など）」、70歳代以上では「道志村が気に入ったため」が各々最も多い。

居住地区別では、長幡東地区、神地地区で「道志村が気に入ったため」が比較的多い。

問23：道志村に転入してきた理由（MA）



※「元々村内に住んでいたが、一時村外に転出したことがある」、「元々村外に住んでいたが、村内に転入してきた」と回答した方

	件	%
結婚したため	96	30.3%
就職・転職・転勤したため	92	29.0%
親族との同居のため（跡継ぎ、親の世話、介護など）	72	22.7%
道志村が気に入ったため	42	13.2%
その他	17	5.4%
不明	16	5.0%
サンプル数	317	100.0%

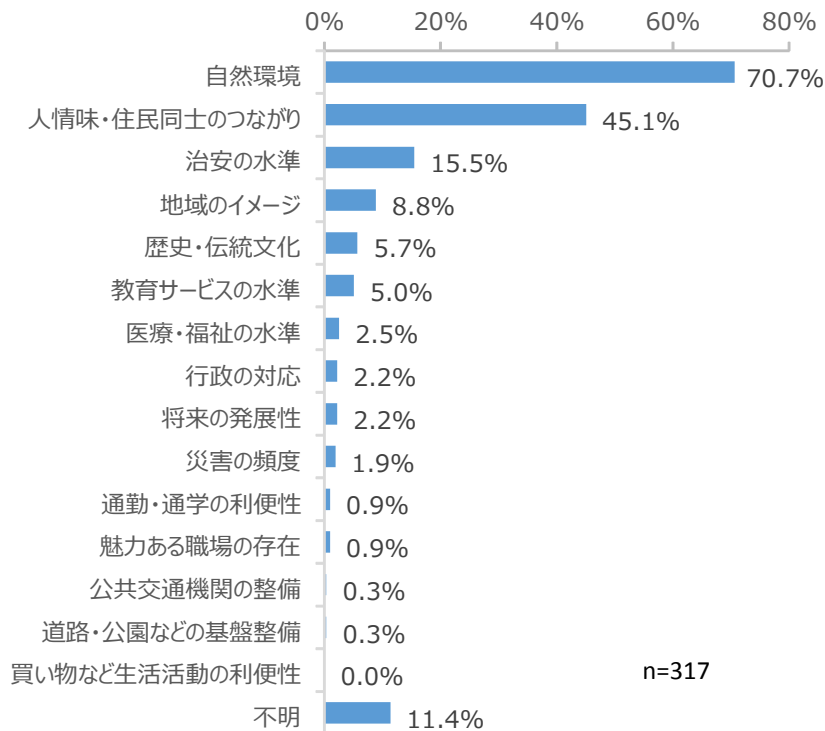
問 23：その他	件数		
学生	2	病気の為	1
学生の時	1	家	1
通学の為	1	親族との同居と子供の生活環境作りのため	1
他県への通学の為	1	最初は環境が気に入り転入したが、住んでみると何もかもが大変！	1
勉強の為村外へ在住しています	1	自動車購入の為	1
心の健康の為に	1	無回答	5
		計	17

問 24(1) : 他市町村と比較した、道志村の良い点 (MA)

「元々村内に住んでいたが、一時村外に転出したことがある」、「元々村外に住んでいたが、村内に転入してきた」と回答した方に対して、他市町村と比較した道志村の良い点について尋ねたところ（2項目まで選択）、「自然環境」が70.7%を占め最も多く、以下、「人情味・住民同士のつながり」が45.1%、「治安の水準」が15.5%と続いている。

年齢別では、大きな違いはみられず、故郷の良さについて認識が共有されていることが窺われる。

問24(1) : 他市町村と比較した、道志村の良い点 (MA)



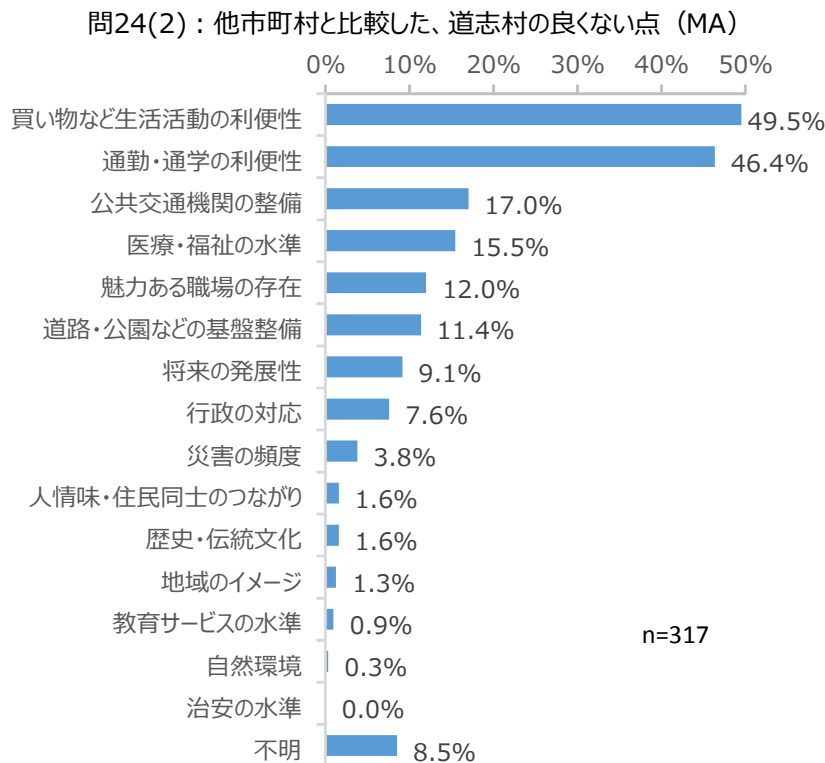
※「元々村内に住んでいたが、一時村外に転出したことがある」「元々村外に住んでいたが、村内に転入してきた」と回答した方

	件	%
自然環境	224	70.7%
人情味・住民同士のつながり	143	45.1%
治安の水準	49	15.5%
地域のイメージ	28	8.8%
歴史・伝統文化	18	5.7%
教育サービスの水準	16	5.0%
医療・福祉の水準	8	2.5%
行政の対応	7	2.2%
将来の発展性	7	2.2%
災害の頻度	6	1.9%
通勤・通学の利便性	3	0.9%
魅力ある職場の存在	3	0.9%
公共交通機関の整備	1	0.3%
道路・公園などの基盤整備	1	0.3%
買い物など生活活動の利便性	0	0.0%
不明	36	11.4%
サンプル数	317	100.0%

問 24(2) : 他市町村と比較した、道志村の良くない点 (MA)

「元々村内に住んでいたが、一時村外に転出したことがある」、「元々村外に住んでいたが、村内に転入してきた」と回答した方に対して、他市町村と比較した道志村の良くない点について尋ねたところ（2項目まで選択）、「買い物など生活活動の利便性」が49.5%、「通勤・通学の利便性」が46.4%と、この2項目が他を大きく上回った。

年齢別にみると、生活移動に関する「通勤・通学の利便性」、「買い物など生活活動の利便性」は若年層で比較的多く、自身に深く関わる「医療・福祉の水準」はどちらかというが高齢層での指摘が目立つ。



※「元々村内に住んでいたが、一時村外に転出したことがある」「元々村外に住んでいたが、村内に転入してきた」と回答した方

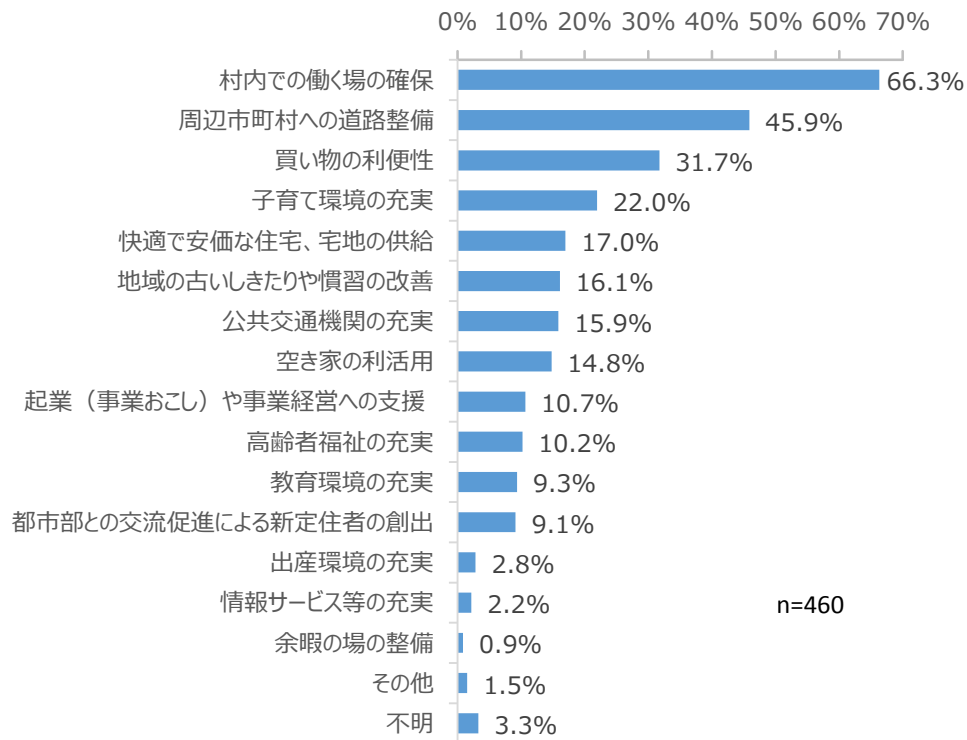
	件	%
買い物など生活活動の利便性	157	49.5%
通勤・通学の利便性	147	46.4%
公共交通機関の整備	54	17.0%
医療・福祉の水準	49	15.5%
魅力ある職場の存在	38	12.0%
道路・公園などの基盤整備	36	11.4%
将来の発展性	29	9.1%
行政の対応	24	7.6%
災害の頻度	12	3.8%
人情味・住民同士のつながり	5	1.6%
歴史・伝統文化	5	1.6%
地域のイメージ	4	1.3%
教育サービスの水準	3	0.9%
自然環境	1	0.3%
治安の水準	0	0.0%
不明	27	8.5%
サンプル数	317	100.0%

問 25：村民の定住を促進するために、道志村として特に必要だと思うこと（MA）

村民の定住を促進するために、道志村として特に必要だと思うことは（3項目まで選択）、他の設問でも多く指摘された「村内での働く場の確保」が 66.3%を占め最も多く、以下、「周辺市町村への道路整備」が 45.9%、「買い物の利便性」が 31.7%と続いている。

年齢別にみると、多くの年齢層で「村内での働く場の確保」、「周辺市町村への道路整備」、「買い物の利便性」が上位3位を占めているが、30歳代では「子育て環境の充実」が、70歳代以上では「高齢者福祉の充実」が、各々「買い物の利便性」に代わり第3位となっている。

問25：村民の定住を促進するために、道志村として特に必要だと思うこと（MA）



	件	%
村内での働く場の確保	305	66.3%
周辺市町村への道路整備	211	45.9%
買い物の利便性	146	31.7%
子育て環境の充実	101	22.0%
快適で安価な住宅、宅地の供給	78	17.0%
地域の古いしきたりや慣習の改善	74	16.1%
公共交通機関の充実	73	15.9%
空き家の利活用	68	14.8%
起業（事業おこし）や事業経営への支援	49	10.7%
高齢者福祉の充実	47	10.2%
教育環境の充実	43	9.3%
都市部との交流促進による新定住者の創出	42	9.1%
出産環境の充実	13	2.8%
情報サービス等の充実	10	2.2%
余暇の場の整備	4	0.9%
その他	7	1.5%
不明	15	3.3%
サンプル数	460	100.0%

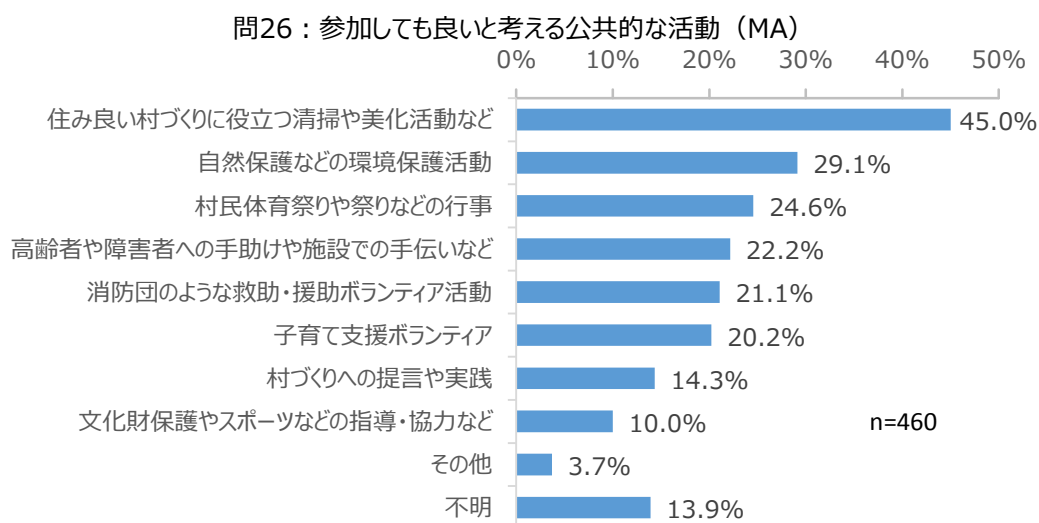
問 25：その他	件数
医療の充実	1
医療の水準の向上	1
医療	1
高齢になり、車の運転が出来なくなると医者にも行けず、買物にも行けなくなり困る。将来を考えると不安だ。姑との同居はとても負担が大きい。別居の為の住宅が必要	1
消防団とかやめたら良いかも	1
個人を特定されるようなアンケートをしない	1
トンネルの新設	1
計	7

問 26：参加しても良いと考える公共的な活動（MA）

参加しても良いと考える公共的な活動は（いくつでも選択）、「住み良い村づくりに役立つ清掃や美化活動など」が 45.0%を占め最も多く、以下、「自然保護などの環境保護活動」が 29.1%、「村民体育祭りや祭りなどの行事」が 24.6%と続いている。

年齢別にみると、「村民体育祭りや祭りなどの行事」は若年層で、「村づくりへの提言や実践」は高齢層で比較的多い。

前回調査と比べると、「消防団のような救助・援助ボランティア活動」をはじめ、支持が減少した項目が7つあるのに対して、増加は「住み良い村づくりに役立つ清掃や美化活動など」など3項目にとどまっており、総じて消極的な姿勢が目立つ。



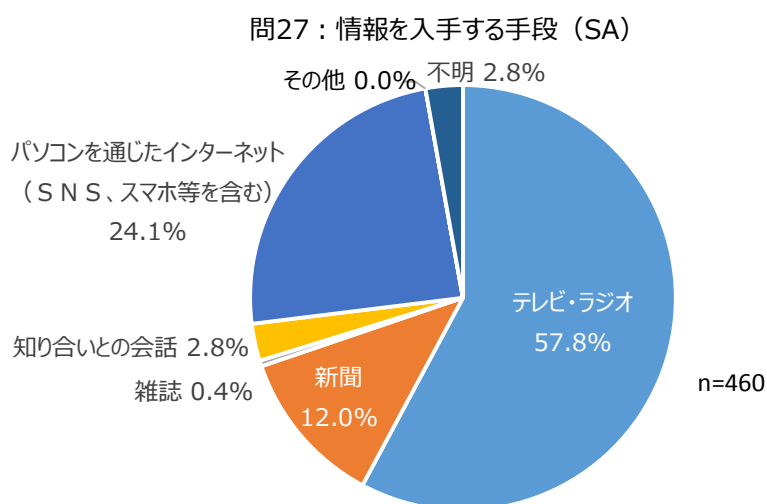
	件	%
住み良い村づくりに役立つ清掃や美化活動など	207	45.0%
自然保護などの環境保護活動	134	29.1%
村民体育祭りや祭りなどの行事	113	24.6%
高齢者や障害者への手助けや施設での手伝いなど	102	22.2%
消防団のような救助・援助ボランティア活動	97	21.1%
子育て支援ボランティア	93	20.2%
村づくりへの提言や実践	66	14.3%
文化財保護やスポーツなどの指導・協力など	46	10.0%
その他	17	3.7%
不明	64	13.9%
サンプル数	460	100.0%

問 26 : その他	件数
お茶飲み会発足以来、ボランティアを行っている。今後も続けていきたい	1
この様なアンケートや情報整理等、事務的な事も	1
横浜市との連携事業への参加	1
家近くの道端の草刈をする程度で精一杯、人前に出たくない	1
健康関連（予防医学等）	1
出来るものは参加したい	1
なし	3
無回答	8
計	17

問 27：情報を入手する手段（SA）

普段、生活や社会・経済などの情報を入手する手段は、「テレビ・ラジオ」が 57.8%を占め最も多く、以下、「パソコンを通じたインターネット（SNS、スマホ等を含む）」が 24.1%、「新聞」が 12.0%と続いている。

年齢別にみると、20歳代以下は「パソコンを通じたインターネット（SNS、スマホ等を含む）」が最も多く、「テレビ・ラジオ」は次点となっているが、30歳代から50歳代は「テレビ・ラジオ」、「パソコンを通じたインターネット（SNS、スマホ等を含む）」の順と逆転している。また、60歳以上では、「テレビ・ラジオ」に次いで「新聞」が第2位となっており、若干ながらも操作知識を要する「パソコンを通じたインターネット（SNS、スマホ等を含む）」は第3位となっている。

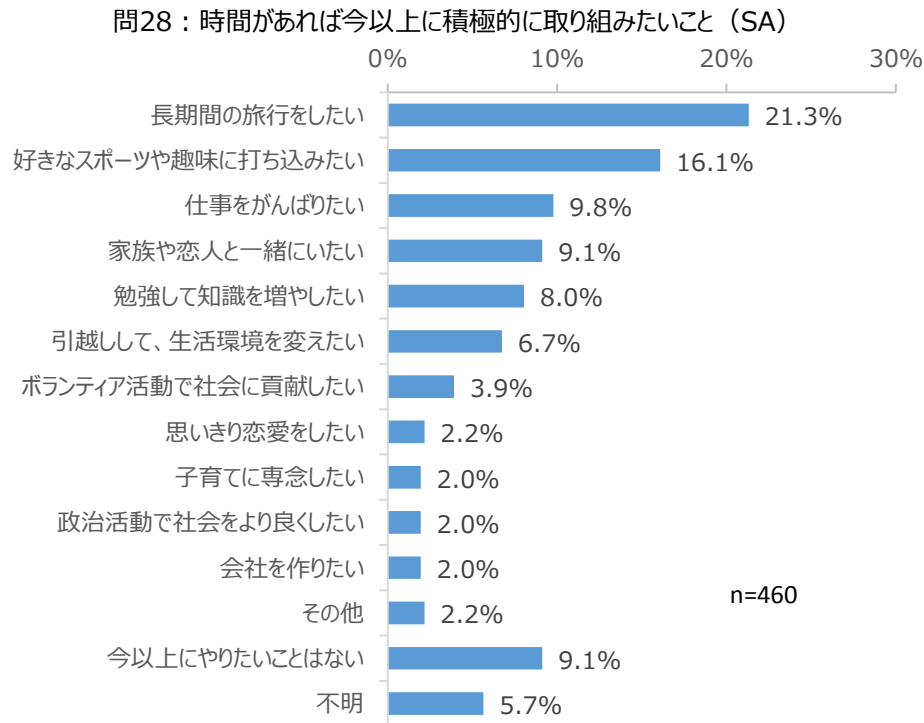


	N	%
テレビ・ラジオ	266	57.8%
新聞	55	12.0%
雑誌	2	0.4%
知り合いとの会話	13	2.8%
パソコンを通じたインターネット（SNS、スマホ等を含む）	111	24.1%
その他	0	0.0%
不明	13	2.8%
サンプル数	460	100.0%

問 28：時間があれば今以上に積極的に取り組みたいこと（SA）

時間があれば今以上に積極的に取り組みたいことは、「長期間の旅行をしたい」が 21.3%を占め最も多く、以下、「好きなスポーツや趣味に打ち込みたい」が 16.1%、「仕事をがんばりたい」が 9.8%と続いている。

年齢別にみると、「家族や恋人と一緒にいたい」、「子育てに専念したい」、「仕事をがんばりたい」、「思いきり恋愛をしたい」は若年層で比較的多く、「好きなスポーツや趣味に打ち込みたい」、「長期間の旅行をしたい」は中高年層で比較的多い。一方、「今以上にやりたいことはない」との回答は高齢層に多い。



	N	%
長期間の旅行をしたい	98	21.3%
好きなスポーツや趣味に打ち込みたい	74	16.1%
仕事をがんばりたい	45	9.8%
家族や恋人と一緒にいたい	42	9.1%
勉強して知識を増やしたい	37	8.0%
引越して、生活環境を変えたい	31	6.7%
ボランティア活動で社会に貢献したい	18	3.9%
思いきり恋愛をしたい	10	2.2%
子育てに専念したい	9	2.0%
政治活動で社会をより良くしたい	9	2.0%
会社を作りたい	9	2.0%
その他	10	2.2%
今以上にやりたいことはない	42	9.1%
不明	26	5.7%
サンプル数	460	100.0%

問 28:その他	件数
仲良しの友達とゆっくり話したい	1
生活水準の向上	1
庭の畑で自給自足できるようにしたい	1
海外へ行きたい	1
タクシー並み乗り合い車が用意されたら、運転以外のボランティアがしたい	1
家のリフォーム	1
村外の人に来てもらイベントの企画	1
ゆったりとした日々を過ごしたい	1
恋人を作りたい	1
家事	1
計	10

問 29 : 10 年後の道志村がどんな村であってほしいか (FA)

- あこがれの村 道志村
- 住みよい村
- 子供達のにぎやかな声がひびく道志村
- 水と土と人が元気な村
- 若い夫婦が移住し、自然の中でのびのび子育て出来る村
- 笑顔あふれる道志村
- 若者と子どもの声が、ひびく道志村
- 明るい村
- 輝け！道志！
- 住みよい村 道志村
- 道の駅の周りを良くする
- 美しい村 安定した生活のできる村
- どんどん大きくなれ！！子供達の声
- 富士山。富士五湖。神奈川を中心に道の駅どうしを道志村の観光として売り出したらどうですか。
- 道の駅を良くすること
- 皆が住みたいと思う村
- 人（定住者・交流者）と自然が調和した村。星降る清流の里（地域資源の保全・活用）
- 日本一のふるさと 道志村
- 清流の村
- 10 年後、若者増えて、平均年齢、10 年ダウン
- 若年層が残るような住みやすい村
- 中型都市（相模原、町田）などに近く、交通が便利になってもらいたい。中型都市に近い村、道志。
- 楽しい村。医療が充実。
- すみよい街どうし、いいまちどうし
- 買物する所がある。道路をきれいにすぐ行けるように。公園など子どもが遊べる所。
- 村じゃなくなって欲しい。
- 自然環境の保全
- ふれあいとやすらぎの里どうし 清流と森によりそう里の村、どうし
- 強小は弱大に勝る！！
- 豊かな村で豊かな心を
- “軒々から聞こえてくる子供達の声”のする村であって欲しいです。
- 和と輪
- 我が道を志す村

- 集まれ若人！！
- 若者が多く子供の笑い声が聞こえる村。農地に米、野菜が豊かに実っている村。
- 村外に出るのに新トンネルが出来て便利になり、自然豊かな村でいて欲しい。
- しきたり改善しご近所づきあいのある村
- 美しい自然とうまい水と空気
- 都心に近い田舎村
- 子だくさんの村
- 暮らし易い ずっと住んでいたい村
- 職場が増えて、人口増えた
- 村民にやさしい村
- 若い笑顔がいっぱいの村
- 今も昔も楽しい（新しい）道志
- 活気力のある道志村
- 近所で子供達の遊び声が聞こえる村
- 豊かな村
- 現状維持
- 皆が道志村が好きだと胸を張って言える。受け身ではなく、発信する。「道志村発」
- 住んでみたい道志村、住んでよかった道志村
- 子供の声が聞こえる村
- 元気で明るいあいさつのある村
- 懐かしくて新しいふるさと
- 住んで良かったと思われる村
- 日本の村の中で住みたい村 No 1
- 道路整備を進め、家から仕事に、学校・買物に短時間で通えるむら（を目指したい）
- 斬新！！道志村
- 10年後となると良いイメージがないです。
- 子供がたくさんいる道志村
- 若人が生活しやすい村づくり
- だれもが、心配なしの生活
- 村には日本一の環境がある
- 個人が輝けるようなゆったりした生活の実現を！
- お互いをお互いが支えあう心のかよう村
- 魅力ある村
- 不便さを魅力に変える村
- 人口増加で、活気ある村

- 行列の出来る道志村
- 人に喜んでもらえる、住んでいる村民も誇れる道志村
- 子ども老人も行動（チャレンジ）できる環境
- 未来が明るい 道志村
- だんだん住みにくい村になると思います。人口が少なくなると思う。理想と現実のギャップが大きい。道路が改善されて欲しい。
- 子供の声響く山里
- 人が住んでいる村
- 人と自然が輝く村
- 笑顔あふれる道志村
- 緑あふれる水源の郷
- すみよい村
- 道志村に人口が増えて子供達が多い村
- 子どもの心配などなく平和でいられたらと思います。
- 子供の笑顔があふれる村
- 一緒に住もう 道志の寿の精霊達と
- こどもの姿がたくさん
- イネ！D o s h i ！
- 皆で支える道志村
- お金を持っている村
- 交通事故のない安全な村
- 活気あふれる村
- 美しい村
- ほっこり、ほのぼの住み良い村！！
- 脱・少子高齢化！！
- 交通網の整備された安心安全な社会
- 住みよい村づくり
- 高齢者が安心して生活出来る村
- 若い世代が活気ある村
- みんなに好かれる村
- のんびり、ゆったり、自然にどっぷりつかりましょう！！～道志村で自然浴～
- 活気に満ちた村
- にぎやか
- 近所の田舎
- 明るく元気な村

- 税金が安くなってほしい
- 老後を安心して暮らせる村に
- 通行止めがない道志村
- 明るい、陽当りのよい安全な村になってほしい。せめて道路際の杉の木を切って活用して。
- 住みよい村 道志村
- 人と人のつながりのある村
- 住みやすい村！！
- 若者が村から出て行かない環境
- 小さな子から高齢者まで笑顔あふれる村
- 安心して住める村
- 自立
- 元気な住民の生活状況
- 自然と共に輝きあふれる村
- 永住の村 道志村
- 脱過疎化
- 安住の里
- 明るく楽しく元気いっぱい
- 安全で安心な村
- 子供が伸び伸び暮らせる（育つ）村、安心して暮らせる村
- 明るく元気な村
- 人が集う人情の村 笑顔あふれる
- 子どもから高齢者まで誰もが住みよい村
- 都心に近い田舎
- 教養を高め、活力がある村
- 輝き続ける村
- 皆さんが住みよく、今より人口が増えるといいと思います。
- 緑と清流の豊かな住環境
- いつまでも水と自然
- YESマン 道志村！！
- 笑顔溢れる村
- 緑と清流と歴史の郷
- 目指せ！忍野村！
- 遊んでみー、住んでみー、道志村
- 若者、子供、高齢者が一緒に住める村
- 不正のない（選挙等）住みよい道志村

- 住みやすく 自然あふれる 笑顔の村
- 幸住村（親切）
- 老いも若きも元気で
- 若い人、もっと多くいる
- 安心して生活できる村づくり
- 全国的に有名な道志村のクレソンラーメン
- 道志村が都留に短時間に行け、高速道路にのれる事。
- 電気と共に生きる村
- 緑と水と子どもの調和のとれた村
- 新たな山村文化の創造
- 特になし。
- ノーマライゼーションの村！
- 安心、安全
- 医療体制の充実。
- 目にも心にも優しい自然。
- 若い人の農家増加。多種農産物の生産の増加。
- 水と緑と風香る渓谷の村
- 活気ある自然豊かな村
- 自然ある道志村
- 何処に行っても屋外で子供達の遊んでいる姿が見られる村。
- 児童数どんどん増える道志小
- 都会に近い自然豊かな道志村！
- 安心して住める今とあまり変わらない村。道志村から世界を変えるブランド物（この村でないとダメ）を作ってほしい。
- きれいな水、すばらしい自然の道志村。
- 緑と水、適度な不便さを楽しめる人外魔境。
- 清流のごとく育つ村づくり。
- 自然を大切にして、若い世代の人達とも仲良く暮らしていける、活気のある村になってほしい。
- ゆったり道志
- 川あり山あり人情あり
- みんなのふるさと村、道志村
- 清流を守り、自然と共生する村
- 交通機関の良い村
- 水と緑の村
- 多くの都市の人が自然に親しみ、癒される場所であって欲しい。
- みんなの笑顔さらさら生き生き村、緑豊かに水清く

- 住みやすい大自然の村！
- 峠の道のりがなく、スムーズに道路になる。
- 未来のある村
- 住みやすい道志村
- 住みやすい村は、自分が長年住んでいて、自分で作るもの、道路状態が悪い所が少しでもよくなり、行き来することがスムーズに出来るのであれば、素晴らしい良い村になるかと思っています。村全体は色々なことに取り組んで頑張っていると思っています。
- 住んで幸せな村
- 自然豊かな道志村！（森林伐採反対）
- 住んで良かったこの村で。
- 清らかな山河道志村
- フレッシュ道志村。
- 山中湖村まで 10 分。都留まで 10 分。
- 森と清流の里。
- 誰もが住みたくなる村。
- Door to door の生き生きタクシー道志村。
- シンプルな社会。
- 住める村。
- Peace of mind 安心
- より良い村を作るため、ともに歩もう道志村。
- 健全な村。
- 自然が残る村。
- いつまでも人情味あふれる村。
- 元気な村。
- もう帰る？もっと居たいな道志村。
- 何度でも、行きたくなる×2 道志村。いつまでも、ここにいたいな 道志村。
- みなくる道志村（皆来る道志村）。
- 自然と共生する村
- 水、自然を活かしたふるさとの活動
- どうしはいいわ！！
- 生活が豊かな村
- “自然と水の共有”
- 五感で四季が味わえる村
- 豊かな自然を守り、活かす村
- 自然豊かな生活しやすい村づくり

- 村内外の人達と一緒に遊べる道志村！！
- 人材の村
- 住民主権の公平な村政を行う村
- 子どもの声があふれる村
- 東京富士山（やま）D O S H I . V（東京にも近く、富士山にも近い最高の田舎）。東京、富士山やまライン自然村。東京富士山やまライン山梨の秘境。
- 世界一の水源の郷
- 京浜のオアシス
- すばらしい村
- 活力ある村づくり
- 10年後も道志村
- 自然と人が共生する村、道志村
- 20代、30代の女性が住みたいと思う村
- 緑の休日村
- クリーン道志村
- お年寄りが活気にあふれ、若者が居住し、子供で賑わう村
- 豊かな道志村は一人でも多くの人口増から
- 自然豊かで、健康生活のできる村
- 住んでよし、みんなの道志村
- 山で遊ぼう！川で泳ごう！森でアドベンチャー！
- こんな村ですが、みんな楽しく（田舎）暮らしています。
- 道志がすき！！みんなで創ろう 子どもの笑顔が輝くむら
- ときめく田舎。田園文化村の創造。「田園とは農業、文化とは教育」
- 行きたい 道志村へ

問 30：人口確保の実現のために有効と思われる施策、事業（FA）

- 雇用の場の創設。商業施設の充実。住宅の充実。
- 働く場の確保。
- 都留から道志への峠を通らずにすむトンネルが、できるといいと思います。村外への交通が楽になるといいと思います。
- 一番大事なのは村民税が安い事。税金は皆、頭が痛いです。
- 自然の中で子育てしたいと思っている若い世代は多くいるのに、道志に移住することが難しいひとつに住居の問題があります。空き家はあっても貸してもらえない・・・この現状を何とかできたらと思います。具体的にはコーポラティブハウス（現代版長屋のようなもの）を作り、若い世代を呼び込めたらいいのにとと思います。忍野村の移住者対策もとても参考になると思います（忍野に家を建てた時の補助制度 etc）。
- 子育て支援で子ども 1 人から補助金を出してあげると、より良いと思います。
- 村の職員が村の事を考えて行動してもらい、村民の気持ちを理解する努力をしてほしい。
- 若者が村内で働けるような企業を誘致し、安心して生活出来るようにする。
- 若い人達が定住するには収入を得る為の職場が必要だと思いますが、具体的には職種は思いつきません。道志の人達がしている農業では食べていくほどの収入を得ることは出来ないと思う。
- コマーシャルを進める。
- 道志・都留線のトンネル事業。通勤・通学時間の短縮で村外に出てしまう人達が少なくなるのではないのでしょうか。
- 働き場所。住む所。
- 道志村に若者の働き場所。住む所の確保。
- 村に住む所がない。
- 子どもがいつでも安心して遊べる公園作り。医療体制の充実。
- 住宅の確保。
- 道志大好き人間を増やし、どうし田舎暮らし、移住者の増加対策、そのための施策、事業として、子育て環境の整備と支援（乳幼児等の子育て支援施設、集い広場）。道志をもっと知ってもらい、好きになってもらうための見学ツアーやお試し道志暮らし体験の実施。
- 女性の雇用の場の確保（村外から人が入ってくる仕組み）。
- キャンプ体験（自然のよさを分かってもらうため）。
- 出産手当と育児手当の充実。若い人の働く場所の確保。アパートの充実。
- 交通、R413 号の整備。特に相模原市へのアクセス、それにより働く場が多くなり、逆に相模原市等から、農業、林業などに通勤できる村を目指すべきだ。
- 病院。
- 公園。保育園。
- 働く場所と交通機関を増やす。若い子が来れる所。
- 定住促進。空き家対策を重視する。空き家提供者を募り、村外から移住したい人のために、道志の良さを知る為の、宿泊交流拠点にする。更に別荘空き家も即定住できるような、IT 事業者等を募る。

- 医療施設の充実、医療水準の向上をし、また、村外への交通の利便性を考える。子育てをしやすいよう、子育てボランティアや、保育施設の充実も考慮する。加えて、災害時の対応をすばやくできるよう、訓練の参加を促すこと、備えをしっかりとすること、地域ごとにその時できることを確認させることで、安全性も確保でき、「村内にいて安心」と感じてもらふようにすること。
- 生活をしていく上で便利な商業施設。
- 定住促進や出生率向上はどこの自治体も目指しているの、それを参考にすれば良いと思う。道志村独自に拘る必要もない。もし事業をする場合は、数値目標と期限を数年間のプロセスで示し、場合によっては修正・撤退も必要。
- 都留方面への早期トンネルの開通。
- 若い人が出て行ってしまっている状況なので安い団地や空き家利用の充実など。
- 何でも揃っているお店と、安値の住宅。
- 働く場所の確保。
- 働く場の確保。大型店舗（スーパー）があってもよい。子育てしやすい環境作り（保育施設の充実）。
- 自動車の運転がしやすい道にする。スーパーや薬局を作り村の中で生活出来る基盤固め。
- 道路整備が進み、トンネルが出来れば若い人が住みよい村になる、自然に定住人口は増える。
- 継続的な施策展開。お茶飲み会、買物ツアーなどは村民の話し合いの中から生まれた事業ですが、その話し合いが他の会に展開してしまい、継続されていないのがとても残念です。
- 空き家バンクの設立。コンビニの誘致。
- 道路交通環境がすべてだと思います。
- 観光に力を入れる。遊休農地の利用。国道を整備し、短時間で体験農園、野菜などの買出しにも来てもらう。販売先の確保も必要だと思う。遊び場を作る。
- 空き家などに1年間のおためし田舎移住体験。
- 気軽に買物できるコンビニ、セルフメデイケーションの為の薬局、住みやすい家賃の住宅（公園つき）。希望すれば入れる保育所。
- みんなで楽しく参加できるお祭り。的を当てるという宝くじばくち等の盛り上げ。水の何か。山北にトンネル。
- 観光ではスポーツ団体等を受け入れられる様な施設を整備する。例えば人工芝のグラウンドなど。工業では、大きな会社への土地の誘致なども考える。水が売りの道志村に合うような企業、例えば水の会社や飲食関係の会社。自営業も多いことから、工場が集まった工場地帯の整備をし誘致を行い雇用を増やす。
- 定住増も別荘高齢人口が関の山かも？なぜ若い者が少ないのか？高校から外に出て、卒業しても上の学校に行っても帰っても道志に帰らない。帰れないのはなぜか。仕事がない、収入がないから。弱小企業でいくつかあっても伸びられない、やめも出来ない現状。道志村で1つの会社を創るしかない。その前に中学終わって外に出る教育がダメなのでは（出なければならぬ現状が）（ほとんどの家庭で若者がいないわけではないだろう）？
- これからは、道志村に若者が帰ってこなくなる。大きな会社、スーパー。
- 保育所の無料化や、保育士を増員するなどして入所できる園児の数を増やす。他、「森のようちえん」などのように、道志村の自然を活かした保育、又、小学校での活動など、特色のある保育、教育に力を入れ、子育て世代に村に

移住、定住してもらおう。保育所の「一時預かり」など、受け入れ態勢の充実。又、母が病気の時などに「託児」が出来るなど、育児支援の充実を計ること。又、それを上手くアピールすることで、村外からの移住者を増やすことに力を入れて欲しい。又、空き家などを活用した居住地の確保、家探しのサポート。

- 地域再生は全国的な課題。そのため、国内の過疎化が進む自治体では様々な工夫をしている（ふるさと納税を地域特産品でお返しする。過疎化対策として移住希望者への魅力ある特典及び地域特産品の開発、事業化など）。この点本村ではいまだ積極的施策を創出していない。水を活かした事業、道志村産〇〇の創出（まずはアイデアから）と村一丸となった取り組みなどで全国に発信する。
- 村外からの移住に対して、受け入れ体制の充実。10年住んだら、30坪程度の住宅を無料で提供する等の施策。
- 交通の便がよければ少し遠くても仕事に通え、住みやすい道志村なので、定住できると思いますが、商店と国道の短縮が出来たら住みやすい事一番です。
- 出産、子育ての充実（金銭的にも）。
- 定住促進には空き家の活用が有効だと思います。近年の田舎暮らしや古民家ブームを受けて、若い世代や団塊の世代は田舎に高い興味を持っています。道志村もそういった方々には、とても魅力的だと思います。
- 道志村も昔に戻って、長男は通勤可能な場所に仕事を持っていけば親と同居すると良いと思います。日本が平和すぎるのではないですか。
- 新しい住民を住まわせるよりも、村外に出ている村出身者をUターンさせる考えもあるのではないか。
- 道志村への定住促進。村内で働く場を確保。快適で安価な住宅。宅地を若い層に供給する。地域の古いしきたりや慣習の改善（特に遠い親戚までに義理を行う、など）。周辺市町村へ短時間でいけるよう道路整備。出生率の向上。子育て家庭への経済的支援、育児支援のボランティア派遣サービス、保育の充実、小児救急の医療体制充実など。
- 定住できる住宅の確保。
- これ以上は変わらないし、無理だと思う。
- 地域おこし協力隊の人達は頑張って村を活気付けてくれています。まずはああいう人達を大事にしてゆけたら、いいなと思います。
- 婚活パーティー、働く場。
- 山には大きな宝がねむっている。何処、この資源を活かさないのか。
- 無計画に建てられて放置されているような別荘を再生して、ウィークリーやマンスリー単位で借りることが出来る住宅として斡旋してはかがかと思います。田舎暮らしを体験する機会を提供し、空き家解消、防犯にもなるでしょう。
- 家でも仕事の出来る環境。インターネットの利用などを活かした事業とか。
- 婚活パーティー、スポ少。
- TV番組の婚活イベントへ応募したり、独身の村民が結婚できるようサポートする体制を整える。
- 空き家を改築し、村外からの定住者を増やす（住む人もよく吟味する）。高齢者を活用し、グループで農産物、米などを生産、販売するシステムを作る。大勢の人が道志村を通過しているので、立ち寄ってお金を落としてもらう施策（例えば大自然の中での多機能な遊びが出来るレジャー施設。作るなら、テレビにも取り上げてもらうビッグなもの）。

- 以前から提案している I T 起業誘致について。スピード感を持ってお願いしたい。村長からのトップダウン（指示）で担当者が計画、実行。職員からのボトムアップで積極的に進行（道志村及び村民に将来的に利益となると思ったら、突き進んで下さい。）。
- 今ある現状の把握。なぜ人口減少が起きているのか？について（次世代が戻ってこない現実）向き合うべき。その上でどのような対策が必要か、持続可能かを具体的に考える。いきなり大きな施策や事業計画を立てることは安易な考えだし、長続きしない。他の過疎が進んでいる村や地域が、どのような取り組みをして再生しているか、成功している地域を知り、そして学びに行くべき。
- 子供が小学校入学の時に、親は将来どこに住み続けるかを決定し、住居を決めるので、出産の時祝い金を配るのではなく、入学の時点で祝い金を出した方がいいのではないか。小学校入学の時に、道志から出て行くパターンが多いように思う。
- 山が多いので山の中を歩く森林浴の出来る散策道路を作り、初心者コース、中級コース、上級コース。横浜市民に P R して、都会の人を呼んだら良いと思う。
- 雨、台風でもストップにならない道路の整備。条件の良い居住地整備。
- 近隣市町村への交通の利便性のための道路整備。特に都留市などは高校への通学者も多く、山を越えるのは大変。親はもっと大変だったと思うが自分も大変だった。
- 交流人口増加のためのツアー企画（住民に何らかの還元がある形）。相模原～山中湖を繋ぐ公共交通の充実。
- 小中学校一貫により、独自の教育システムの確立。それにより、「道志村で学ばせたい」と思うようもっていく。学ばせる為に、道志へ移住する。併せて、住居の整備を行い、移住者を増やす。議員の人数を減らして、その分給料を増やす。若者が生活できる給料があれば、仕事として議員をやれる。仕事を増やすには一番速いと思う。
- 子育てするのに、まずは道志村での職があり安定していることが必要だと思うので、その施策。子どもを生んだ後、子どもと楽しく過ごせる公園や支援サービスの充実があると安心して生める。
- 結婚支援イベント。村営住宅の拡充。移住 P R 活動。
- 若い人にどんどんきてもらう。団地などを増やす。
- 道志村の宝といえば水だと思います。この水を飲料水として利用できる会社を誘致すればと思います。若い人も働ける事業。
- ない
- コンビニは必要。子供が遊ぶ所がない。道路の整備。
- 村も高齢化だそうなので、村民の為に特別養護老人ホームの充実。村民外のための有料老人ホームも考えては？ 県外からの別荘に住む人も増えて、その人達も高齢化する。別府のどこかに？ 老人を招いて作られた老人天国の町があるそうですね。うろ覚え。老人ホームの村なんて暗いと昔気質はお考えは、行政改革で。
- 婚活の推進と農業を活かした産物がたくさんできる様に。
- 高齢化に伴い、施設を造ったりサービスの充実できる事業所を設けたりして、村民が働ける場所の確保をしてもらいたい。道の駅の隣にコンビニエンスストアを設置することは出来ないのでしょうか？ 国道となっており交通量はかなり増加しているので、立ち寄り場所を少しでも造れば働く場所も維持できると思います。

- 村から出て行こうと思っている人や、村に住まないと思っている人に直接何で道志村に住んでいないのか聞いたらいいと思います。
- 働ける場所を確保して欲しい。外国人も来るような観光施設を作ってもらいたい。
- 現在の交通の不便さ（雨が降っただけですぐ通行止めになる道路）や買い物の不便さ（コンビニもない）をはやく整備しないと人口はますます減る一方だと思うので、生活環境の整備をしてほしい。
- 総務省による村おこし協力隊の方達がすでにおられ、道志村に住み続けたい意向があるにもかかわらず、3年ですべての支援（住宅）がなくなるとの事。せっかく3年も住んで、道志村に住みたいと思っている若者達へ道志村が継続して住まい等の提供、仕事の情報を伝える等支援し、住み続けることができる様にまずすべきだと思います。1人、2人、3人、4人と道志村に定住してもらおう具体的な支援が必要だと思います。
- 貸住宅の整備。雇用の場の確保。
- 空き家利活用して都市部より若者夫婦の移住者を。
- 職場環境の見直し。他の県の人が行政等、サービスを受けた時に気持ち良いと思ってもらえるように。村での生活、接客で通用する対応でなく、ちゃんとした対応をしてほしい。
- 40歳～50歳の若い世代が村づくりに取り組んでほしい(将来のために)。
- 道志村の二男、三男はほとんど村外に出て住んでいる。又、長男も外に出て家を建てて住んでいる。雇用の件、交通の不便だと思う。トンネルが早くできれば良い。そうすれば、二男、三男に道志村で宅地を提供し、人口確保が出来ると思います。
- 企業の誘致。
- 企業のための支援。持ち家を手に入れるための支援。
- 周辺地域との交通をスムーズにして、村内から通えるようにする。若者が定住しやすいような雇用の場所を作る。
- 自然を大切に出来る事業。道路整備。災害を最小限に出来る整備。
- 人口確保を目指すのであれば、人口増加をしなければならないと思います。定住促進を目指すのであれば、交通道路関係を整備し、地元雇用を増大する必要があると考えられます。2点を重視することはどうでしょうか？
- 畑付き安価な家賃の住宅を作る。村の木材を使った建物で、（杉丸太小屋など）杉の木の有効活用をしてほしい。
- 子育ての支援や結婚した人達への子作り支援といった、子供を増やす戦略。今現在の、子供がいる家族の人達からの話を聞いたりして、情報を元に、今、必要な対策を見つける。
- 定住促進を目指すのであれば、道路の整備、通勤、通学への利便性を重視した方が良いと思います。道路整備事業を、とにかく進めるべきではないでしょうか。
- 前からお願いしているのですが、子どもの遊べる場所を作ってほしいです。ちょっとした公園でもあれば、いいと思います。
- 道路整備。
- 産業の援助（農業、ものづくり、ものを解体とかする、その他もろもろ）。子育て支援（他市町村より高い水準のもの）。結婚に結び付く対策（結果的にゴールまでの実績がほしい）。税の減免（それぞれ税金が高くなる事で、村に魅力がなくなる）。

- 仕事の創出。休耕田の活用。若年夫婦への村営住宅（空き家・空別荘の借上）の格安提供。保育所の充実。国道から見える荒れた景観の整備と是正。通過するだけではない413号線沿いの活性化。
- 天災（台風・大雪）ですぐに通行止めになってしまいます。それをどうにかしてほしいです。第一にトンネルを造っていただきたいです。ここができないと、どんどん人口は減っていきます。道志村でも若い人が出て行ってしまって、老夫婦だけの家がたくさんあります。その方達がいられる老人ホームみたいな施策があったらいいなと思います。
- 少子高齢化が全国的に進み、村においても深刻な問題です。人口減少は確実に進みます。今後の道志村は道路のインフラ整備が進んでおり、隣接市へのアクセスも良くなり、通勤距離も短縮されるので、村内定住希望を誘致可能になります。そのため定住促進のために単身、世帯用住宅の新設増設が必要だと思う（現在、村内定住したくても空家等の貸家利用が出来ていない）。村内へのIターン、Uターンを進めながら他地区からの移転、定住の誘致を進めるべきと考える。
- 山にはたくさんの木があります。木をつかった「物」を作ってみたらどうでしょうか？色々なものが作れると思います。売り場を作って「手作り商品」として売れないでしょうか？働く所があれば、若い人達もきつと住んでくれると思います。
- 住宅の確保と、働く場所創出。
- 診療所の多目化。育児支援センターとまではいかなくとも、支援を受けられる場は、必要だと思う。バスの本数を増やす。歩道の拡張。
- 村内で子育て、労働する人向けのサービス。定期的に青年団世代が集まって楽しむ場・機会の確保。
- 改善不可能、現状維持。
- 住み良く、安定した働く場所の確保。交通の便。
- 近隣都市との交通網の整備。
- 職場の確保、結婚、子育て支援。
- 公営住宅法に基づかない村営住宅（村内各地区への平屋戸建）の整備。子育て家庭の経済的支援。
- 水、農産物等を活かした事業。
- 日本一の子育て支援のできる村。
- 早く都留市や富士吉田市に行ける道路が必要。
- 定住。若い人達が住みやすい住宅を増やす。出生。保育士を増やして待機児童をなくす。産後すぐ働けるように仕事を村より出す。住む所がなく、出て行く者、入村したくても断っている現状が人口減少の一番の問題と考えます。
- 住居の確保。園の受入の為の保育士増員。子供が有効に行き来できる遊び場所を作り、情報通信環境の強化、道路整備（道の駅の渋滞、バイクや車の音やスピードの制限、たばこやペットのマナー）。
- 働く場の確保。若い人達が安心して生活できる環境。
- 現在、別荘をたくさんつくり高齢の人達がきているが、ただ人口を増やしても、そういう人達は行政サービスをしっかり受け、元々いた人達も圧倒されるほどで、村のためになっているのか疑問。定住促進について、生産年齢の若い人達を増やしてほしい。私達の税金で、別荘へ最近入ってきた人達がサービスを受けているのには納得がいかない。
- 農地付き住宅。
- 空き家の活用、定住する人に支援。
- 働く場所がもっとあればいいと思います。

- 空き家をリフォームして貸し出す。
- 老人ホーム。道志の水を活かす、水を売る。川をせき止め、水力発電で電気を作る。
- ソーラーパネルの設置。電気自動車の充電スポット増加（無料）。各ポイントに。それに伴う交通増加の対応。
- 地域資源を活用し、道志ならではの生活スタイルを発信する。
- 特性の創出。
- コンビニ。
- 医療の充実、雇用確保。
- 農林水産業と、障害者雇用のマッチング。
- 産業等の誘致とセットした交通ネットワークの構築！
- 低賃料の住宅の安定と、婦人科、小児科の増設。保育所の安定。
- 片親（特にシングルマザー）に特化した衣食（職）住の手厚い保護による定住促進策の強化。それによる少子化、人口減少、嫁不足、一石三鳥の解決を期待する。
- 安定的な職場。
- 村内に若者の働き場所の確保。農地を活用し、野菜等（副食）を育てる場を作り、若者の定住を進める。併せて空き家の活用を進める。
- 高校や大学等を誘致し、若者が沢山居る村になって欲しい。高齢者がいつまでも現金収入を得られる様、道の駅の様な所での野菜販売ももっと周知したらいいと思う。
- 使用していない家、施設などを事業所などに貸し出す。
- 新規移住者にはゴミを出す事すらままならない。都会の知り合い宅に行った時、一緒に出してもらおうようでは行政とはとても言えない。バスも学校も以前より減って未来が見えない。村の側で住宅の整備、ネット、ゴミ収集、交通、自然環境を壊さない範囲の雇用拡大を図り、新住民の受け入れ体制を充実させるべき。
- 都留市に向けてトンネルが出来たら高校に通うにもと思う。又、道志村には斎場が出来たらと思います。
- 雨の日の通行止めの改善。通勤・通学の時間短縮とバスの土日祭日の運行。土日の医療施設の営業。コンビニなど店舗の営業など希望します。
- 子育て世帯を含む若い世代には、住居の無料提供や義務教育費給食費等の無料など特別なサービス。
- 税金の負担を減らす。税金の無駄使いを省く。
- 働く場所がないため、大学を出ても就職できないので、なかなか帰って来る事ができないのが大きい。道の駅のような働ける場所があれば良いと思う。あと、道路の整備、都留へ行く道も大変なので、トンネルを掘って道を整備していったらどうかと思います。
- 水と緑を基準とした産業を考えて下さい。次世代が定着する事が一番かと思っています。
- 人口確保の為に、元々道志村に住む人、未婚者への結婚相談、婚活イベントの継続、新婚向け村営住宅の拡充。村外からは、特色のある小中学校教育の創造、民間不動産の流動性向上、景観の向上によるイメージアップ。
- 横浜市との連携を強化し、交流事業、イベントを増やす。その中で、横浜市民割引の拡大を取り上げる。）
- 道志村の良さを活かしていく。静かで人々の人情があり、他地域からの移住者を受け入れることができる。学校教育の充実を図ると、若者定住には十分なメリットがある。学力向上を期待できるとか、体力的に中3までには必ず「〇

○」が出来る様になるとか、義務教育中でも村ならではの教育方針を提示し、公に公表していく。もちろん受け入れ体制も整えた上でのことですが。

- 工場の多い村。
- 生活道路の整備。特に都留市への時間短縮に繋がるような県道の整備。10分～15分で都留市へ行けるようになれば、人口確保に繋がるのでは？ただ古くからのしきたり、付き合いなどがかなり面倒であるから、その部分も改善出来ると住みやすいと思う。自然に囲まれ、住む場所としては大変良いと思っているので…。
- 若者が生活上必要なもの、好む物は最低必要（コンビニ、レンタルショップ等）。
- 住宅の増加。
- 買い物の利便性と、周辺市町村への道路整備が必要だと思います。それとコンビニは必須だと思います。
- 公園などの整備。
- 向上、これを目指して頑張っていくところで、医療機関がもう少しあって、人民の皆が健康でいられるように、身近にあればいいなと思っています。
- 若者が定住する為に必要なのは、職場へ村内から通勤が出来る事だと思います。雨量などで通行止めになり、まさに陸の孤島になってしまうことも多いので、まず道路整備を進めて欲しいと思います。空き家や休耕地などを都市部の人に貸し出す（別荘だと高齢化が進むので）ようなことはどうでしょう。
- 道路を整備して欲しい。通学するのに大変です。すぐに通行止めになってしまい困る。この前は学校に着いたら9時。通行止めで間に合わず、帰れなかった。
- 農業、特に林業を重点とした若い連中の人口増加が必要と思う。
- 環境に優しい産業の誘致。SOHOが出来る集合住宅の設置。バイオ産業などの研究施設。道志村の自然（野草、樹木、水）をテーマにした公園を作る。ジビエ料理のレストラン、ジビエ食材の生産、販売。
- ここ数十年来起きている、「一人暮らしになったらいつの間にか施設行き」の現象をなくせるような村民思いの「足」作りをしてみたら？会いたい人に会いに、行きたい所に自分で行けるような。幸せとは日常茶飯の事柄ではないか？
- 道路整備。団地などの住宅整備。
- 保育料を半額にする、無料にする等、道志村で子育てをすることのメリットが必要だと思う。
- 1) 交通手段の条件整備。2) 食育計画の推進。3) 村営住宅の整備と住宅地の提供。
- アパートなど住める場所、働ける場所を作る。
- まだまだというよりは、まったく村内各部署での現実的な取り組み等はわかっておりませんが…悪しからず。定住促進については、他県（茨城県大子町等）で行われている様な、空き家を利用（村での管理と多少の支援金負担）で偏った過疎の部落（地域）の解消が出来るのでは…（人口増加）。又、新（別荘等）旧の空き家を若い世帯の方達へ提供し、地域ぐるみでの子育て支援（例：留守時に預かる等）の出来る環境づくりや交流が出来ればと思います。
- 雇用確保が第一なので、村外での情報開示。村外からの移住者への支援。
- 思い切った子育て支援対策を実践する。保育料の無料化。給食費の無料化など。保育園のうちから英語教育を授業に取り入れる。
- 電車の駅を作ってほしい。

- 村内で職場確保。雨の日の通行止めの改善。通勤通学の時間短縮とバスの土日祝日運行。土日の医療営業。コンビニなどの営業の希望。
- 若い人向けの住居。
- 道路整備。他の地域への時間短縮。
- 休耕地等に住宅を建てて、近隣での子育て世代に呼びかけ、道志村での子育てを推進する。村外通勤には通勤費用の半額を補助する。
- 働く場を作り、雇用を生み出す事業を展開していくことが、定住の促進に繋がると考えます。企業と連携した形が良いかと思います。
- 若い人が生活しやすい村づくりの為には、仕事の確保、又は通勤通学しやすい道路の整備ではないかと思います。
- 住宅を整備して、移住者の受け入れや村外に住んでいる人のUターンや、地域おこし協力隊の受け入れなど。
- 道志村に住んでみませんか体験。
- 教育、福祉の充実が人口確保の為には、重要な観点であると考えます。
- 道志村で安心して定住できる様にするためには、より多くの雇用と公共交通機関の整備（道路の整備を含む）が必須だと思います。通勤するにも通学するにも、今のままでは村内、村外からの移住者とも定住するには厳しいと感じています。高齢になった時にも、やはり仕事がない、交通の便の悪さは住み難さに繋がると感じています。
- 歩道が切れている箇所が沢山あるので、繋げて欲しい。小さな子どもが安心して歩ける所を確保して欲しいので。また、保育園の場所が車で送迎が大変な場なので、広い所へ移動するか、道を拡げて欲しい。雇用の確保も、定住者を増やすためには必要だと思います。
- 安定した雇用の場。
- 安定した職場の確保力、安全な通勤の為にも、通行止めのない道路整備が必要だと思う。安い住居を提供する為に、村で空き家の保全という形で借り受けて、定住希望者に管理人として住んでもらうなど。
- 交流による定住。交流産業の推進（産業の活性化、簡易宿泊施設の整備）。歴史文化の掘り起し（観光資源として）。道志ブランドの確立。情報力の強化。富士五湖、箱根、道志七里。公共交通の対策。
- 良い案は思いつきませんが、とにかく若い人が住みやすいように考えます（住民の古い考え方とか）。
- 村外からの移住の方の支援。村で働ける場所。交通の便。
- 住宅、教育、公共交通、仕事環境の整備、住宅から公共交通については、中期、長期の取り組みとなるため、短期的に効果のある地域おこし協力隊の存続も希望します。
- 通勤通学を楽にすること。都留市、または東海道方面へのトンネルを掘ってもらいたい。
- 公共交通機関（特に電車など）の導入→働き口の確保。地形を生かした風力、水力発電→働き口の確保。せっかく温泉が2つもあるので、P Rとして休日の観光客が温泉を利用してくれると良いのではないのでしょうか？
- 職場が無く、低所得のわりに出費が多く、毎年納税が上昇し、若者の自立が困難なのは、村を離れたくなる一因となっている。若者の優遇措置を考える。結婚後も共働き出来る職場環境が必要。
- 安定した働く場所（通勤も可）が確保され、充実した生活が出来、しかも安心した子育てができるための支援、施設、住宅等が確保される事業。
- 周辺市町村への道路整備。

- 安く住める住居。小児科、産科の充実。子育て、出産支援（金銭的な）。
- 空き家に住める為の仲介、改修補助などのコーディネートをおく。道志に数日住むショートステイ体験、道志の気候、風土、生活の実際を案内できる移住コンシェル設置。定住促進住宅の設置。団地の入居規定の改定（まずは家、住所を持てる場所の整備）。夫婦で村内に住む人への家の賃借→数年支払えば自分のものになるなど。
- 村内伝統産業をはじめ、各種産業の発展、新産業の創出などを図り、若年層・壮年層を中心とした人口流出への歯止めと、人口流入増加を目指す。大学卒業時のUターン促進。Iターン促進。外国人の受け入れ。
- 山北町か都留市にトンネルを開け雪にも台風時にも通行止めにならない道路・交通対策。
- 月夜野トンネルを完成させ、相模原市に早く行けるように、住まいは道志村に仕事は相模原市へ。住みやすさ向上に向けて、特に教育、子育ての充実を。老人に村づくりに協力してもらおう。富士吉田市～中央線藤野または相模原市へのバス運行を。
- 「土と水」をテーマにした里山テーマパークの創設。「産・学・官」が連携した実験型農業施設。キッズニア型農業体験。食を通しての命のつながり。グリーンセラピー。教育立村。子育て・教育環境の充実。

問 31：未来の道志村の村づくりについて自由意見（FA）

- 官、民、共同による産業の創出（農業、林業など）。道志川などの環境の整備。
- 若者の定住と自然の保護。
- 人口も減少気味になってきているので、このまま過疎化していかないように、発展していくといいなと思います。今の子供たちが住みよい村になっていくといいと思います。
- 村民が健康に気をつけて少しのお金でも暮らしていける村らしい村になって欲しい。
- 住み良い村に！
- 田畑や山林の活性化。道の駅や売店の活動促進で元気な住民を一人でも多く。水と土が活性化すれば農林業に希望が出てくる。
- このようなアンケートを実施してくれるだけ、住民の生の声を反映しようとしている姿勢に明るい未来を感じます。ぜひ集計で終わらずに一歩踏み出して動いてほしいです。個人的には2人の子供を育てているので、村内に公園がほしいです。そこに行けば他の子供たちと遊べる、大きくなくていいのでそんな公園がほしいです。宜しくお願いします。
- 明るい選挙をするように心がけましょう。
- 高齢者社会になるので、自分で車の運転が出来なくなった時、小回りのきく、乗り合いバス（小型）でもあったら老人は助かると思います。
- 若い人の働く場が増えて、子育てしやすい村であってほしい。
- インターネットなどで半世紀後には人口減少で消滅する村と言われていますが！！今のままでは仕方ないかなと思う。村の存続を願うには、若者の入村を第一に考えるべきだと思いますが、今のままの態勢では難しいと思います（村民の大半の方の考え方を変えないと。）。誰の為でもなく、自分の子供、孫の為だと思いますが！！
- 自立心
- 村民負担が大きすぎます。必ず改善案を出して下さい。このアンケートの意味を必ず示して下さい。
- 道志村の子供達は、とても素直で頑張りやな子が多いです。自然豊かな環境のせいなのか、親や先生や地域の皆んなのおかげでもあると思います。子育てするには不便な事もありますが、とても良い環境であると思います。その事をもっとアピールして、若い人達に多くこの村で暮らしていただけるようになってほしいです。
- 働くところがない。
- 若者の働き場所を作ることです。
- 働き場所がない。
- トンネルができれば良いとおもいます。
- 税金が高すぎるから安くして。
- 村づくりは、みんなの知恵を出し合い、実行することだと思います（みんなの知恵で村づくり）。
- 自然を残しながら、交通をもう少し便利に。
- 派閥を言っていたら、道志村に若者はいなくなるし、村は消滅する。
- 村民税、国民健康保険料が、他の市町村に比べ高すぎる。

- 道志村は、介護、教育、医療に特に問題がある。自宅介護の大変さはなった人にしか分からない。又、村に多くある別荘なんかは、そのうち廃墟となり犯罪の元となると思います。
- ハイキング、山登りが好きなので、もう少し山の整備をしてほしい。登山道路が整備されていないので！
- 若い子が来ても出て行かないような村。
- 16年の無投票によると思われるが、村政が十分に機能していない。村長はもとより、議員も村政について村民と頻りに情報交換を行い、村民のために何をすれば良いのか目的を持つことが必要だと思う。若者も発言の機会を与えられず、元気がない。まず選挙をして、村の行く末をみんなが共有し、活発な話し合いをやっつけていかないと、この村の未来はないのではないのか。
- 若い世代から高齢者まで、安心して暮らせるように、医療施設の充実、水準向上を目指し、また、地域で関わりが持てるよう、イベントの開催などを進めたいと思います。
- 道路網の整備や村外内の人が利用できる場所の整備。
- あと10年もするとお年寄りばかりの村になりそうな気がします。村外への交通の便が短時間になれば、若い夫婦、親子も道志村へ住むようになるのではないのでしょうか。
- 前回の総合計画の検証と総括を行ってください。人材の育成。村民参加型の地方創生を目指すならば、予算獲得のための建前計画をたてない。それを防ぐ為に事業の責任を明確にすること。
- とにかく何も無い村。夏だけは沢山の人が来るのもっともっと増えていくように、店と名物を1つ作る。名物というのは、子供が遊べたり、楽しめる所。
- 村が悪いとは思いませんが、人口の割に自殺者が多いと思います。何も無い村なので、ストレスも溜まります。未来の道志村の村づくりは今本当に真剣に考えるべきだと思います。何があれば村民は良いのか、不便すぎます。
- 村民が出来る事は自分達です。材料費を村からいただき、労力は村の住民がするという活動をもっと広げていけたら。
- 若者が頑張れる環境作り。
- 山や川を大事に守ることが第一です。東京や横浜市に近い道志村ですので、自然を活かし、大事にしていれば道志村の良い環境を求めて更に交流人口は増えてきて、静かで居井村になると確信しています。
- 村民ひとりひとりが村を愛すること。村民ひとりひとりが村の広報者となる必要があります。
- 都心部の人々へ道志村のPRが不足
- 道路交通整備、例えばトンネルなど災害を防げる（国道がすぐに通行止めになる。仕事が出来ない。）。
- 合併も必要かも？
- 村外で仕事をしている人は、家庭と仕事場に距離があり、いろんな面で不安があります。安心した生活をするのに職場に近い所に行き、村から離れてしまいます。その他の理由もあると思いますが、人口が出来るだけ減っていかないように対策の一つとして、安定した収入、生活ができる様に、これから先も総合戦略として、村内の事業主さん達にも協力してもらい、安定的な雇用の場を増やしていく。
- 峠を越えなければならないことはどうしようもないので、それよりは村内の生活環境の充実を目指すべき。村外の人を求める、いかにも田舎というものはしっかり残しておいて（おいしい水、豊かな農産物、やさしい人々）、生活としての水準はしっかり高いこと（光がひかれたのはとてもよかったと思う。）。トイレやお風呂がきれい、とか。

- 人口を増やすには、仕事場、コンビニ、色々な役員を少なく、保育所の預かり時間をのばす、学校週休1日制、単身でも住める団地。
- 人口を増やす考えをしないと、若い人は皆いなくなります。そのためには、新しい事をするのも必要ですが、現状の良い所をもっと良い方向に考えるのも必要です。新しいことを取り入れながら、今の良い道志村の所を磨けば良いと思います（観光や工業など）。
- 神奈川県方面は月夜野のトンネルができることになっているのでいいのですが、都留市方面が教育が主なので一番いい場所にトンネルを掘ってもらいたいです。実現したら村の悩みは解決すると思います。
- 村内で買物必需品が揃ったり医者も他の科があると良い。銀行も必要。村外へ出なくても何不自由なく生活できることが大切。村外へ行くにも、道路整備（トンネル）して近くしてほしい。
- 村民の人口に対して村役場職員が多い。大して、いろいろなこと分らない人ばかり。何を聞いても対応が遅い事。
- 道志村の村政には、臨機応変な対応がかけられていると思う。村民から要望があった際、「それは、総合計画に入っていないから」とか、「5年前の村民アンケートにはその要望は無かった」とか、「現在、需要がそんなにないから」と言って断るのではなく、まずは真摯に受け止め、対応して欲しい。又、「現在」だけでなく、未来を考え、良いものはどんどん取り入れていく姿勢を持って村づくりを行って頂きたい。
- 厳しく言えば、良くも悪くも村ぐるみの家長制が有形無形に存在する特異な地域性を取捨選択していかねば、道志村の未来はない（例えば村議選が定数内で、指定席なのは何故か？20代の村議ではいけないのか？議員候補者はどんな人で、どんな考えで立候補しているのか？）。市町村で当然なことが、本村では問題視されない。村の未来を率直に表明できる若者（でなくとも良いが）の出現を待ちたい。
- 子供を増やさないと、すべて無策になる。60～70の年寄りに対して活性化などありえない。よそ者意識の解消が絶対が必要（他はよく分からないが、馬場地区はひどい状況です。）。
- 都留市へのトンネルは長期に時間も掛かると推測されますので、差し当たり、上中山から都留への短縮道路で神地の墓の上へと連絡道ができることをお願い致します。
- いがみ合うことの無い村づくり。子育ても近所みんな協力できる明るい村づくり。挨拶のたえない村づくり。
- 人口対策や高齢社会への対策は、道志村だけでなく、日本各地の市町村が抱えている問題です。けれど対策の講じ方はそれぞれの市町村によって異なります。道志村も、これらの問題に対し、道志村の現状に合わせた対策をとってもらいたいです。そのためには、こうしたアンケートのように住民と行政の対話が重要だと思います。
- 働き場所が少ないこと、周辺市町村への通勤時間がまだかかること、病院が遠いことなど、子供達が成人すると村外へ流出してしまう傾向があるので残念です。豊かな自然環境を活かした観光開発、他市町村への道路整備など推し進めて欲しいです。
- 「村」だからこそ、最先端を目指して欲しい。新しいことをどんどん取り入れ実践して欲しい。
- 正義が勝つというより、権力が勝つ道志村、住みづらいです。新しい（若い人）意見や、村外から来た人の意見などは聞き入れてもらえないし、恐くて言えません。
- 時々、健康の為にウォーキングしています。その村道をこの間、村からの依頼で草刈りをしていて人を見かけ、うれしく思いました。両側にはびこる草は困ったものですから。
- 若い人が安心して働く事が出来る事業を促進して下さい。

- 診療所が休みが多すぎると思う。
- 高校生になると、現在では個人が通学に送迎をしていますが、大変な事だと思います。吉田と大月の中間に道志村の寮があれば安心できると思います。
- 未来という遠い話ではなく、現状改善について、です。生活ごみの分別が全くされていないことには転居当初びっくりしました。食品のスーパーにはごみステーションがあり、牛乳パック、食品トレイ、ビン、スチール缶、アルミ缶、ペットボトル、本、新聞など資源ごみとしてリサイクルできます。生活ごみもプラを除くとごく少なくなり、独自の処理施設を持たない村にとっては、やりかた次第で、大きな成果が得られると思います。
- 更に高齢化が進み、今の（これからの）子ども達には多大な負担がかかってくると思うと、定住の問題、昔からのしきたり、冠婚葬祭など、出生率の問題にも係ってきますよね。定住するには人付き合いが苦手な方も増えてきていたりするので。高齢化の方の問題を何とか、充実させるほうが良いのかも。
- 高齢化が進み、福祉を充実するのわかるが、それを支える若者や、子ども達のことをそれ以上に考えて村づくりをしてほしい。
- 道志村が生き残る為に、今一番必要な課題は人口増加対策。人がいなくなってしまうのは、どんな施策をしても無意味。道志村に來たい、住みたい、楽しいと思える施策を考えて欲しい。
- 村議会議員の選挙での選出（定員+4〜5名）。最低2期8年くらいやらないと本当の仕事が出来ないのでは。報酬30万以上（本業で議員の仕事を行うにはそれなりの報酬が必要では？）。村民の希望（アンケート）を聞いても良い事は積極的に動かなければどうにもならない。情報収集が目的ではなく、実行してもらいたい。
- 道志村道の駅にてのフリーマーケットなどの開催。TV、マスコミなどに取り上げられるような道志村の新たなスポット作り（例えば宮ヶ瀬ダムみたいに）。
- 村全体が今後の村の方向性をどう変えていくのかをしっかりと決定したほうが良いと思う。①今いる村民のための村づくり②新しい住人を呼ぶための村づくり③事業や会社を誘致していく村づくりなど、限りある少ない村民税を分散して無駄に使うのではなく、有効的なお金の使い方を行政がしっかりと行って欲しい。村人として出来る事は積極的にお手伝いしたいので、このチャンスを大切にして「村づくり」を皆で実現させたい。
- 村の中に職場を求めるのは難しいので、通勤、仕事場に通う道路を早く作って（トンネル等）村民全体で考えたい。村の中には住宅で良いと思う。休日をゆっくり過ごせる。家で疲れを取りたい。
- 緑と清流の村が上水道に苦しんでいるのでは？上水道はしっかり整備したい。
- 道路を整備し、通行止めにならない事。
- コンビニくらいは欲しい。
- 道志は「水」がキーワードだと思う。水を利用して、小水力発電（水道管から）を行い、全ての電力を賄えれば、新たな産業が始まる、と同時に雇用の確保に繋がるし移住者も増えるのでは？
- 日本全体で、子どもは少なくなっていて、高齢者は増え、人口が減っていくのは仕方ないのかもしれませんが、道志村に住む人が増えて欲しいと思っています。
- 子育て世帯が増えないと、20年後の出生数が1年で1人も生まれない時がくると思う。そのためには、雇用・住宅・子育て支援に力を入れて欲しい。
- 道志村には働く場所が少ないので、大手の会社が来て、次男でも外に出ないで村で働く所があると良いと思います。

- 少子化のため、近所に遊ぶ友がなく、場所もない。遊具があって、短い時間でも遊べるようなところが必要だと思います。道の駅や山百合センターに作ることは出来ないでしょうか？
- 交通に不便だから豊かな自然が残る。不便な土地だから若者が外に出て行く。観光に力を入れれば村は俗化する。美しい静かな道志村を残すには、都会の喧騒に飽きた高齢者の終の住み家としての老人ホームの充実。村内で働く場所の確保にもなり、村外からの看護師さんへの生活環境の整備、国道 413 号線の整備の充実で、美しい静かな道志村が存続する？
- 人口減の問題を何とかしなくてはならないと思う。そのために働く場をどんな分野からでも見つけてゆくことが大切だと思います。
- 生まれて来て、ずっと住んでいる村です。自然や村民の皆様の人情はとても深く厚いものです。ただ、働く場所がなかったり、子供たちの教育の面では苦労があります。良い所はたくさん伸ばして、これ以上人口減少のならないよう村全体で考えていき残していきたい「村づくり」に協力したいです。
- 先のことは、わかりません。
- 涼しい村を宣伝し、多くの人に住んでもらいたい。
- 道志村の水は本当においしいと思います。水を活かし、その水を利用して出来た農産物を P R して活性化していけたらよいと思います。
- 活気のある村を作る。その他には、村外から一人でも多くの人を迎え入れる事業が必要だ。特に、これと言って何も無い村だから、今有る、自然や水を活かした大規模な事業をして目玉にしたらいと思う。最後に観光協会は何も努力してないと思う。現状維持だけを考えているのなら、廃止した方が良いと思う。そんな協会に補助金を出すのは税金の無駄遣いだ。
- 日本の美しい村連合から村民の知らないうちに脱退したのは残念です。未来の道志村も美しい村であって欲しいからです。脱退した理由は公報に掲載すべきです（私の村内の知人はみんな脱退したのに驚いています。）。人工のものが極めて少なく、自然を大切に、自然の中に他の生き物と同じように人が暮らさせていただく・・・そのような理念のある村づくりであってほしいです。
- 若い世代の子どもたちが、もう少し遊べる施設を増やしたりくつろぎの場が増えると良いと思います。又、日常生活に必要なスーパー等の確保があると大変ありがたいです。
- 未来がある小、中学生の教育を向上していけば良いと思う。商工業が少なくなってきたから、増やして、住みやすい村を作った方が良いと思う。子供を育てるのに、育てやすい環境を作った方が良いと思う外国人や、村外、県外などの人を、村に呼び、住みたいと思ってもらえるようにすること。
- 書面ではなくて、人の意見、対談をすることが大事だと思います。アンケートを書いただけでは自分には何も伝わりません。
- 早期の交通困難箇所の解除（トンネルの掘削 2 本）。コンビニのある村。
- 若者が定住するにはまず職場。道志村水を活かし水会社整備。
- 道志村で生まれ育った人は不便さはあるが道志村の生活がいやで外に出たいと思う人は少ないと思う。問題なのは外から来る人達が、住みたいと思う環境だったりする。結婚しても逆に外へ住むあととりもいるので。道志を知ってもらうことが大事。

- 過疎村になっても、今、中学校、小学校を建てている。まだ道志村には老朽化した建物がたくさんある。新規につくり無駄なものは壊し、又、交通の便も良くして頂き。又、老人ホーム。今、いろんなことをしていただき過疎村になっても安心して暮らせる村になってもらいたい。
- 交通機関をコミュニティーバス化し村外から自動車免許証がない人でも来村しやすいようにする（東京・横浜に住んでいる人から「道志村は遠いんだよね～」とよく言われる。）。都会の若者の自動車離れは激しく、自動車を持っている人だけを対象にしていたら、将来的に来村する人は減少していただけたと思います。
- 職場と結婚の2つの事がうまく進むと、道志村にも良い事がたくさん増えます。
- 役場の人、道志の人が多すぎる。役場の人はいろいろな役場を回してほしい。
- 先ほど、Q8～14に、市町村合併に関するアンケートがありましたが、村の方は市町村合併をしたいのですが？？単独維持をお考えですか？私自身どちらとも思えませんが、道志村側の意見を教えてください。
- 週末ごとに都会から2～3回泊まれる住宅。畑で野菜や花をつくり、川や山等で遊べる場所があれば良いと思います。
- 若い人達はもちろんですが、道志村に住んでみたいと思ってもらえるようになればいいなと思います。
- 住んでみたい村と思える村づくりが必要。道路の充実や、生活環境、アンケートに書かれているほとんどのことが必要だと思った。
- 台風や大雨のたびに通行止め、しかも村外へは出られなく、八方塞がりになる今の道志村では、人口確保など、とても出来ないと思います。せっかく自然がいっぱいの村なので、ぜひ、交通の面を早く何とかしてほしいです。村外へ勤めている方も多いと思うので、通行止めで仕事にいけないうのはこりこりです。何とかして下さい。よろしく願います。
- 他の市町村がやっているからとかではNOで、無駄だと気付いたら気付かされたら改革する。
- とにかく一部の会社等が大きくなるのではなく、住民全体の生活が楽に暮らせるようになれば、元気住民が多くなり魅力ある村になれるような気がします。
- 本当に美しい村といわれるように、村民に意識してもらうこと。大雪でつぶれたままの屋根の補修や撤去。道の駅沿いの歩道を車道につくり替え、左折専用の一車線をつくり、渋滞減少に努める。工事車両や材料置き場が、国道沿いにあるが、他の地に移設してもらい美しい道志の風景を取り戻す。
- ここは国道413号線なので車の通行量が激しいです。その人達が寄れる村になってもらいたいです。自然はこのままで十分なので、もっともっと発展してもらいたいです。何しろ、住みやすい村になってほしい。又、村政でつくってもらいたいです。子供達がずっと暮らせる村にして下さい。
- 高齢化が進み、村内の農村業者が減少しているので、自然保護の面においても危惧があります。そこで都市部から農業、林業をしたい人を公募、誘致して、農地山林の活性化を進め、道志村の財産である自然を守り、住みよい環境を作る等の施策も良いと思います。
- 都市よりも若い人も子どもたちもみんなが仲良く毎日が幸せと思えるような、人と人との和が持てるようになればいいな。
- 住み良い村で、どこからも行ける道であることを願います（都市、市、町、村）。一つではなく、広い道路で、車がすれ違いうくらいではなく、カーブを少しでも少なくした道で買い物に出掛けられる、そんな村であることです。
- インフラの整備や特養の建設ばかりでなく、住民目線できめ細かい政策も必要。

- 人口を増やす為に別荘を作り安くする等が必要。道志村で育った子供達が少しでも道志村で働き村外への流出を防げないのか？
- 教育委員会が本当に子どもたちの事を思って、子どもの生の声に耳を傾けてほしい。子どもは大人が感じている以上に大人のことをよく見えています。やる気や思いやりの気持ちは子どもに伝わります。それを見て子どもはこの村に希望を持って少しでも住みたいと思ってくれるはず。
- 道志に家を建て、当初は週末に道志に来る生活でしたが、現在は定住しています。通っていた頃に一番感じたのは、東京に近いのに、暫く車で走ればワーツと山の中に入ってしまう魅力でした。東京以外にほとんど知らない私には「この魅力は売りだな」と思えたものでした。夏の涼しさも…。冬の低温も…？
- 正義は通らない、何が本当かわからない。大人は子ども達に恥じない生き方をすべき。若者が村に戻らない理由は誰もが分かっている。自分が生きていく為には他人を傷つけても構わない。僻地での教育は良くない。子や孫が心配。今更変われない。
- 一つでもいいから、また来てみたいなあと村外の方が思えるような観光的な場所作りを考える事。
- 新しい建物（やまゆりなど）は年に一度プロ清掃業者を頼んだ方が、長い目でみると良いと思う。
- 嫁さんが来なくなる様な村にして下さい。
- 道志村での子育ては日本で一番、安心、安全でお金のかからない様に支援策をしてほしい。観光施設は道の駅周辺に集約してはどうでしょうか。村に分散している公共の観光施設を道の駅周辺に移し、村に遊びに来た人達は、ココに来れば半日くらいは遊べるように、5年間の予算を集中的に使ってはどうでしょうか。
- あらゆる“村の力”を若者の定着をしてこれるような方向で頑張ってもらいたい。この村は小さな村で行政の皆様、良くなさっていると思います。私は満足しています。
- 道志村には自然や治安はこのままで十分だと思うが、情報通信環境（TVが映らない、ネットが途切れる）が弱く不十分。また、他県の方のマナー制限、子育て環境の充実（保育士不足、学校教育特別クラスの未来など）。
- 古い慣習にとらわれずに、正しいことが通る村にしていく。
- 子供や高齢者へのばらまき補助はいかがなものか？税金を大切に使ってほしい。節約できるところはしっかり節約し、必要なところへお金を使う当たり前の事を実施してほしい。
- 住民個々の人間性向上。
- 災害に強い道路整備。企業誘致。
- もっと、多くの事業所があって、色々な年齢の人も働けること。
- やはりいち早く都留へのトンネルが道志の一番の促進だと考えており、望みます。
- 道志の売りは、神奈川県、山梨県、静岡県交通にあると考える。独断と偏見。今、国で力を入れている電気自動車を全面的に村で出していき、スポンサー（日産など）を取り入れたら、強みになるだろう。独断と偏見。「電気と共に生きる」を新しいキャッチフレーズにし、世界に『道志村』を見せることが出来れば、これ幸いであることは言うまでもない。独断と偏見。以上。
- 開かれた村政運営。
- コンビニ欲しい。

- 地域の古いしきたりや、慣習を変えていかない限り、道志村は変わらないと思う。若い世代に本当に住みづらいところだと思います。
- 首都圏からも近く、移住したい県 No. 1 でもあるので、自然豊かな道志村にて癒される生活を送る事が出来る様、ソフト面でも対策も必要になってくるのかと思います。
- 自然保護と、他県、山梨だけではなく、神奈川県との連携。
- 道の駅にあるお豆腐屋さん、道志村らしいものにすれば、もっと良いと思います。川越でザルに入ったぼつりした豆腐（水分がたれない程）が良く売れると送って貰うことがあり、これは高くても買うと思いました。ドーナツは人にすすめたい。美味しいです。
- 空地の農業活性をし、若者を受け入れ、生活安定の援助をする。交通の便利さを検討する。マイクロバスを利用し、1 日の運行を増やし、平野と月夜野の連絡を良くして頂きたいと思います。乗車数が少ないのに、大型バスは無駄だと思います。
- 人口減少を止めないと、人のいない所には経済、教育、政策、何も成立しません。人口増加策こそ、最重要課題に思う。
- 交通、道路網の整備。
- 近隣市町村との距離を短縮する為の道路（トンネル等）の整備。
- 道路が整備され、通勤通学が短時間で出来る様になれば、若者が定住してくれると思います。自然を大切にしながら、相反する道路整備は難しいでしょうか。
- 住民と語る会等、集まる会の時に、道志村の若手はなぜ出席しないのか不思議です。自分たちの住む村の将来や年配者（親、子供）なのに、お祭りや運動会などでは見かけますが？もっと集まりやすくないのでしょうか？役場の職員が多いのも不思議で威圧している感じです。お茶飲み会や買い物ツアーの時等に、地域おこし協力隊の方が見えると、とっても嬉しそうにお話ししたり、甘えていますよ！！
- 電車や飛行機がない。リアとかが走り始めれば、人口も少なくなってしまうので、道をもっと良くしてほしい。
- これだけ都会に近く、自然環境が豊かな所はそうはない。いい所は沢山あるのに、村全体がまるで戦前のような閉鎖的な感じがする。20 年前は人口も 2000 人を超え、農道も虫捕りの子供達が沢山いたのに、今はほとんど見ることはない。交通網や行政の近代化、整備は急務だがもっと根本的に村を魅力的にする方法を見出す事が必要。自然を壊しては元も子もないが、例えば森林整備を兼ねて急峻な山々を逆手にとった森林アート、冬の寒さを活かして神奈川から来やすい月夜野あたりに道志川の水を引き入れ、景観最高のスケートリンクとか。とにかく積極的な将来像を持たなければ、21 世紀半ばを待たずに消滅集落の仲間入りをしてしまう。不満は山ほどあるが、好きで住んでいる道志村。あまり都会化されたくない範囲で住み易くなって欲しいと切に願います。
- 老人ホームでも出来たらどうかと思います。
- 道路整備などしてから、自然を活かし都会より人が来て、農園体験や釣り体験など、一日のんびり過ごし、又泊まりで来るような環境整備。
- 生活インフラを行政が出資して、民間に運営してもらおう。
- 働く場所の確保が必要だと思います。このままだとお年寄りばかりの村になってしまうと心配しています。若い世代がこの村で生活していけるように、活気がある村にしていけばと思っています。

- 日本全体が人口減少に向かう中で、人口確保は難しいと思いますが、このままでは村の民間事業は継続が困難となり、例えばガソリンスタンドや商店といった生活インフラを村で背負うことになりかねません。ふるさと創生推進室が新設され、未来の道志村について専任で考えて頂ける部署が出来たのは嬉しく思います。ぜひ民間の力を活性化させるための計画と戦略、施策をお願いします。
- 人口減少は村だけでなく、日本全体での対策も必要である。村で今しなければならぬのは、村に来たいとの希望がある方の受け入れ体制は、他市町村よりだいぶ遅れていると思う。
- 別になし。
- 古いしきたり、義理はりがとても苦勞している。今や若者は大学等への進学が当たり前となり、経済的にも大変になって来ている。しかしながら、子供達にお金をかけても、Uターンして来る者は少なく、都会での暮らしに慣れてしまえば、こんな不便なところには帰って来ない。道志村に未来はあるのか？高齢化と少子化で消滅していくのではないかと、不安に思う。
- 常に村民のアイデアを求め、それを検討し有効、実現可能な事は、その人のアイデアとして公開し、次のアイデアを生む活力にしてもらい、また新案として記録、賞賛し、村づくりを多くの人に考えてもらおう村にしたい。特に思うことは、その人のアイデア、意見を尊重し、絶対に批判しない事が大事。アイデアをどんな人でも出せる体質の村にしたい。
- 行政が閉鎖的で横の繋がりがなく、各部署がバラバラに活動しているように思える。小さい村なので全体を考え、行政、村民一体になって、もっと開かれた行政にしたらどうか？まとまりがない感じがする。まだ村について判らないことが多いが、これからもっと考察していきたい。
- 村内での働く場の確保。公園や子供の遊び場。
- 村に薬局、スーパー。無理ならコンビニ。是非作って欲しい。何かあった時に（子供が風邪をひいたりして必要なもの）、近くにすぐ買えるところが欲しい。
- 村づくりは、皆全体で作っていくものであると思います。村全体の協力があって出来るものであることで、未来、これからどの位の協力者がいて、努力することができる人達がいて、素晴らしい人間関係を作ることで、自然に良い村に繋がるのでは・・・。
- 子供からお年寄りが笑顔で幸せに暮らせる村、田舎だけれど都市部とも繋がっている村、それには若い世代が中心となって欲しいと思います。少子高齢化なのは理解できるが、逆に高齢者の方に重きをおいている感じがします。若い世代が住みたくなる村を目指して欲しいです。
- コンビニくらいあったらいいと思う。
- 都留、道志線の各場において、凍結防止に道路側の早めの伐採を促進して欲しい。道の駅の休日、祭日における渋滞防止に、手前からの左折道路を作って欲しい。
- 道志村をもっと知ってもらおうPR活動。
- 道志村には、貴重な山野草や樹木の潜在性が大きい事を認識してほしい。公共工事などで失われる植物を調査してみてください。住宅近くの道端に突然貴重な草花を見出す事が多々あります。ぜひ、道志村の自然の豊かさを認識して、それを活かす村づくりを進めて下さい。
- 自然の中で高齢者に（人）やさしい村をつくりたい。

- マイカーでなくても出入りできたら、自然豊かで過ごし易い環境を求めて人々は集まるでしょう。国道沿いに住み、三方向の大きな都市に出て行かれる村。考えてみたらこんなにも恵まれた村はないのでは？どんな人でも同じように行動できる「足」があれば、この村に住み続けるでしょう。
- 1) 村の教育ビジョン。特定健診等実施計画。健康増進計画。高齢者福祉、介護保険事業計画。男女共同参画推進計画。次世代育成支援行動計画の基礎に道志村食育推進計画を据える事。2) 自立の村づくり。市町村合併の時、単独存続を選択した原点を忘れない事。
- きれいな川や水などがいつまでもある村であってほしいです。多くの人が道志の良い所を知り、訪れてくれるといいと思います。
- 自然を活かしたアウトドア施設の充実を進めていく。
- ここ道志村も神奈川県等通勤圏内。たっぷり時間をとって日帰り可能な所。キャンプだけでなく、魅力的かつ興味をそそるような（水源の郷をアピールするような）散策路や休憩処（ホッと一息ティータイム）又、休耕地利用で菜の花（春は）コスモス、綿の花、そばの花（実用も兼ねて、一面に咲く赤いそばの花も魅力的ですよ）等々、四季を通して道志村で元気になって帰ってもらえる。そんな道志村であってほしい。追伸：（1）役場の方、駐在さん等、新任の方には大変かもしれませんが何処に誰が住んでいるのかを知っていて欲しい。着任後、一度は家庭訪問を。（2）最近、国道沿いのゴミがとて多い（いつもきれいにして下さった方は体調が・・・？もしそうでしたらお大事に）。（3）コンビニも是非。（4）全村図（新聞見開きサイズで）ハザードマップを全世帯（別荘も含む）へ配布し、各家庭で良く見える所へ貼り付け。避難所、避難経路、連絡先等、常に把握出来る様に！
- 人口を増やしたいと思うなら、道志村で生まれ育った人達がもっと真剣にもっと積極的に「道志村の良さ」をアピールすべき。ただ待っていても前には進めない。私のように、村外から移住する人がほとんどいないので、逆に元村外の目線から見た「道志村の良さ」をしっかり発信していく。今の自分も大事だが、子供の未来を何よりも大事にしていきたい。
- 優秀な指導者がいて、優秀な職員が何人かいれば自ずといい村になると思う。行政の頑張りに期待します。
- 観光客集客のために、猪や鹿のパークを作る。
- 早くコンビニ。トンネルの話は？村民の方がおしゃべりの方が多い。
- 森林整備（死んだ林をなくす）。昔の道志川の復活、一部でも。川や山をもっと楽しんで展望できる所を増やす。道の駅道志は、ロングランで村外の人からも注目されているし、これからもそうであってほしいので、問題があるような所は早い解決を・・・。道志にとって大切な場所なので、村民で育てていかななくては。交通事情がもっと整備されなくてはいけないと思う。
- 開発するのではなく、現状の環境を整備することに力を入れ、自然を活かした村づくりが良いと思います。
- 若い人達の活躍出来る機会をたくさん設けていくことが大切だと考えます。
- いいお節介の出来る様な人々のあり方が、道志村の明るい明日に繋がるのではないかと思います。
- 村民1人1人が道志村を愛し、一丸となって村の事を考えていく。
- 横浜市と教育的な援助において、これから道志村を担う人材を育成して行ければ良いと思います。例えば、道志村から特待生とか。

- 高齢者と子供と一緒に安心して遊べたり、運動できる公園が欲しい。道志の子は肥満が多いと聞きました。バスや車で出掛ける事が殆どですし、運動できる公園（遊具のある）が欲しいです。公園がない町（村）は、本当に困ります。
- 通行止め等のメール通知は、外に出ている者は1秒でも早く知りたい。事後報告では役に立たない！
- 「幸せな生活が送れる村」とはどんな事なのかを、村全体で考える必要があると思います。
- 人と人の繋がりが深い分、村外から移住してくると、その“しがらみ”が良くも悪くも生活に関係してくることに違和感を感じます。村長選挙などは特に外から来た者としては、異様な感じがしています。もっと個人の意見が自由に発言できる環境でないと、村は良くなれないと感じます。
- 株式会社道志村を2000人の社員になる様にして、村全戸（希望者）で、各職種に渡り就業する。村全体が一企業になれば、前向きな意見がいっぱい出てくると思う。
- 公共交通対策が全てに繋がると思う。立地を活用。交流人口の増大は雇用対策にもつながる。農林業の振興も、観光産業と結び付けられればと思う。情報宣伝、ブランド化、戦略的に実施することが必要。他町村との連携も必要（ブランド化に向けて）。横浜だけでなく、神奈川、東京全体に目を向けることも必要。
- 村にとって良い所は良い所で残していかなければいけないと思う。若い人達の力が必要だと考えられる。
- 住民の意見が取り入れられる村づくりであってほしい。アンケートを取ったら、それがどうなったかを広報などに載せてほしい。
- 未来の道志村づくりは、年長者の意見ばかりでなく、若者の意見も聞きながらやっていった方が良いと思う。若い人がどんどん外に出ていくので、こんな村ならいいと思えるような村にしていくと良い。でも若者の意見だけではダメなので、年長者の意見も聞いて、みんなで取り組んだ方が良いと思う。
- 道志村の豊かな山、清流な川を軸とした自然環境と、人々の生活、伝統文化、誰もが「ふるさと」と感じる村。そこに伝統のみでなく、新しい視点、技術も必要だと思う。
- なるべく自然を残しつつ、住民が生活しやすいように整備され、人口が減らない魅力のある村になっていけばいいなと思います。
- 道志村役場職員として専門職員（その道で勉強し、資格を持った人）を採用すべきではないでしょうか？移動が多く、移動後のトラブルが多いので改善して欲しい。
- 選挙絡みの就職斡旋など、悪評を払拭し、村民が誇れる公平な村になって欲しい。また、国内外から山梨へ訪れている多くの観光客を道志にも呼び寄せる手立てを考える。例えば、海外へ向けてPRしたり、村内の宿泊施設が丸となって入退室時間に合わせて、送迎バスを運行する等。
- 村の活性化は人口増につきますと思います。
- 道の駅の芝生スペースが駐車場になるという話を耳にしました。あのスペースも含めての高評価だと思います。多くの人の意見を聞いて欲しいです。
- 村民の意見や考えを発信できる機会や場が沢山あると良いと思う。
- 現状だと未来に向けた村づくりがされているとは思わない。対処に追われるだけで予防のような処置が出来ていないように思う。今後、日本全体で人口が減り、村内では経済活動が減退（商店がなくなるなど）していくことが考えられる。自治体同士の競争も激しくなる為、飛び抜けた動きがないと村の今後は明るくなっていかないとと思う。

- グローバル化が進む中、世界に通じる道志村民づくりを目指し、10年後の総合戦略の策定をお願いします。子どもが夢や希望が持てる、子どもが笑顔になれる、子どもが輝ける、そんな村であってほしいです。子どもは宝です。
- リーダーのポテンシャルが全てであり、リーダーを選ぶ村民の民度が重要。この程度の村民に、この程度のリーダーとまらないこと。